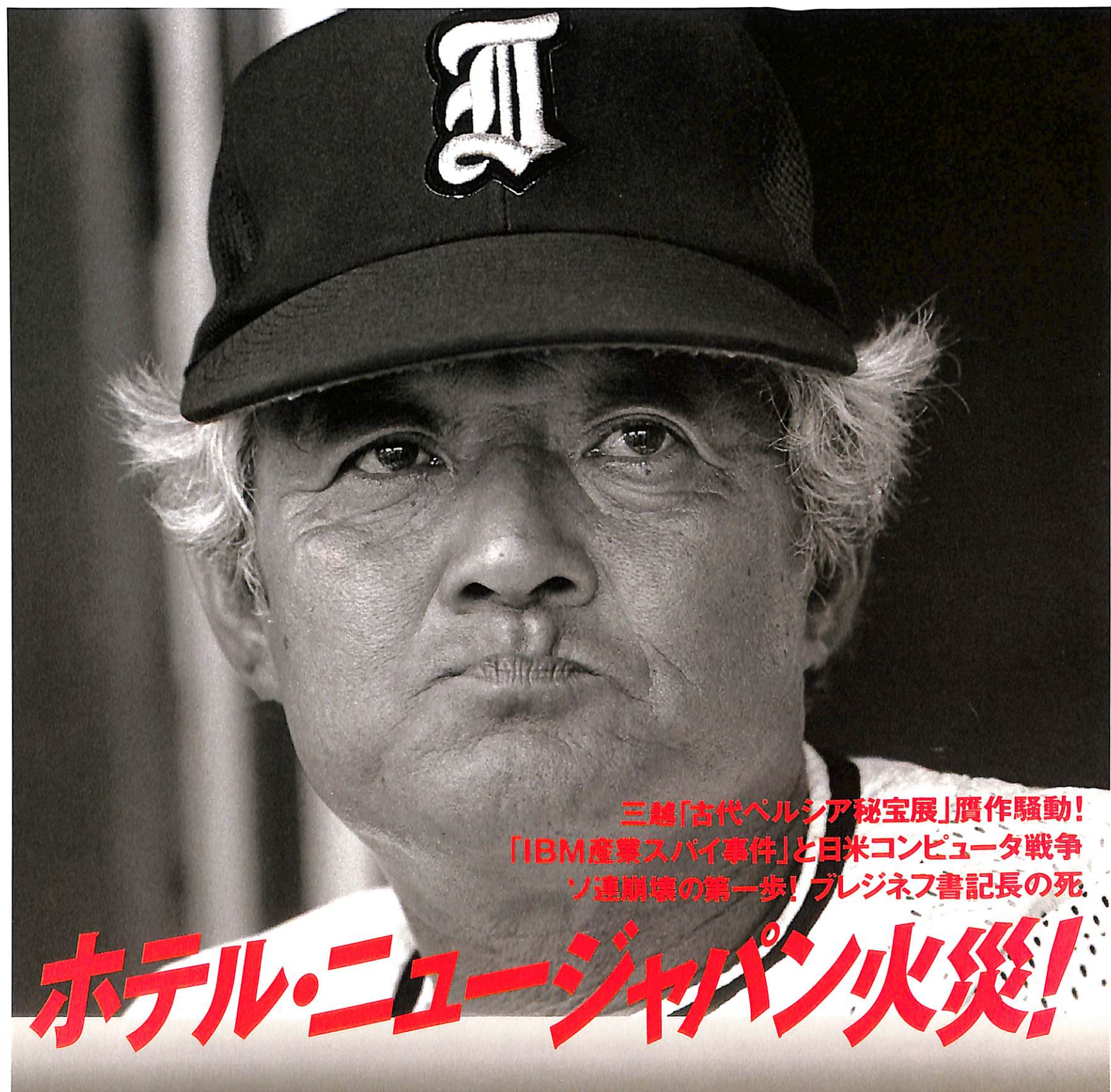
週刊 YEAR BOOK

1982
昭和57年

# 日録20世紀

3|24
平成10年3月24日発行
(毎週1回発行)第2巻第11号
¥560
講談社

三越「古代ペルシア秘宝展」贋作騒動!
「IBM産業スパイ事件」と日米コンピュータ戦争
ソ連崩壊の第一歩! ブレジネフ書記長の死

## ホテル・ニュージャパン火災!

# 安全無視で死者33人の"欠陥"ぶり
# 「タワーリング・インフェルノ」さながらの炎熱地獄
# ホテル・ニュージャパン火災！

▼9階客室の惨状。スプリンクラーも防火壁も設置されておらず、内装もベニヤのため火のまわりが早く、またたく間に燃え広がった。　共同通信社

昭和五七年の二月八日と九日は「魔の二日間」だった。三三人の死者を出したホテル・ニュージャパンの火災と、「逆噴射」で知られる日航機羽田沖事故が連続して起きたからである。とりわけ、ニュージャパン火災の被害は、ホテル側のあまりにもずさんな防災対策に起因することが明らかとなり、怒りの声が経営者の横井英樹社長に向けられたのである。

## 午前三時、九階から出火 逃げまどう宿泊客たち

昭和五七年二月八日の午前三時半すぎ、凍りつく寒さの中、東京都心の一等地、赤坂にあるホテル・ニュージャパンの九階から突然火の手が上がった。炎は未明のホテルを包み、窓から吹き出す紅蓮(ぐれん)の炎が夜空を焦(こ)がした。

未明の火災で宿泊客はほとんどが熟睡中だったことや、火のまわりが早かったことに加え、非常ベルも鳴らず、避難をうながす館内放送もなかっただけでなく、従業員による満足な避難誘導もなされなかったため、宿泊客の避難は遅れ、現場は逃げまどう客たちで大混乱となった。「助けて」「ヘルプ、ヘルプ」という声、意味不明の叫びも飛びかっていた。高層ビル火災をテーマにした映画「タワーリング・インフェルノ」を地で行くような阿鼻叫喚(あびきょうかん)の惨劇だったのである。

猛烈な炎と煙に視野を奪われ、三〇(メートル)の高さの九階から絶叫とともに飛び降りて落命した客もあった。絶望のあまり、後に続こうとして、ドスンという鈍い音で思いとどまった被災者は、「熱さと息苦

▶空を焦がして燃えるホテル・ニュージャパン。消火設備が不備の"欠陥ホテル"のため、多くの被害者を出した。　増淵良雄　読売新聞社

◎表紙　8月20日、全国高校野球大会決勝で徳島県・池田高校を率い、広島商業を破って優勝に導いた蔦文也監督。　朝日新聞社

安全無視で死者33人の〝欠陥〟ぶり
「タワーリング・インフェルノ」さながらの炎熱地獄
# ホテル・ニュージャパン火災！

▶この日、ニュージャパンの宿泊客は315人だった。うち33人が死亡、27人が負傷。写真は救助を求める宿泊客。 朝日新聞社

しさのため、いっそ飛び降りた方が楽では」と一瞬考えた、という。中には、四枚のシーツをつなぎ、二つ折りにしてベランダに巻きつけ、一階ずつ降りては手繰り寄せて脱出した冷静な人もいた。だが、いずれも生死は紙一重の差だったのである。

火は九時間余り燃え続け、九階と一〇階を中心に約四二〇〇平方メートルを焼き、鎮火した時は、午後一二時半をまわっていた。

死者は日本人一一人と外国人二二人の合わせて三三人にのぼった。

出火元は九階九三八号室で、英国人男性客の寝タバコの不始末から。失火責任者の客は死亡している。

東京・赤坂のニュージャパンは立地条件がよく、オフィスとして使っていた人も多かった。だが、横井英樹社長（六八）の就任以来、サービス低下が著しく、「お宅の部屋はお湯が出ますか」が挨拶代わりになるなど、悪評さくさくだった。そのため好立地の割には利用客が少なく、折から受験シーズンで、ほかのホテルを予約できず、初めて投宿し、被害者となった人も多かった。

## 安全無視の欠陥ホテル 横井社長には実刑判決

だが、火災の後、ニュージャパンが、信じがたい欠陥ホテルだったことが次々に明らかになる。

昭和三五年にオープンしたニュージャパンは、三五七三人収容の一流ホテルとされていた。五四年に、「乗っ取り屋」の異名を持つ横井英樹が社長となったが、横井社長は安全面を軽視していた。

まず何よりもこのホテルには、防火・防災施設がほとんど設置されていなかったのである。横井社長が、前経営者時代にはあった防火予算を、全額カットした事実もあった。

ニュージャパンの客室は、四階から一〇階までとなっていた。

一〇〇人以上の死亡者を出した大阪の千日デパート（昭和四七年）、熊本の大洋デパート（四八年）の火災の経験から、昭和四九年に消防法が改正され、四階建て以上の建物には各室にひとつ以上のスプリンクラーの設置が義務づけられ、改正以前に作られたビルにも適用されていた。だがニュージャパンの九階、一〇階にはスプリンクラーはなく、代替防火区画も四階と七階に設置されていただけ。当時、都内の都市型ホテルでは、ニュージャパンだけがスプリンクラーが不備だった。

これに対し、地元消防署は、年に二回立ち入り検査し、そのつど設備の改修、改善を勧告していた。だが横井社長は資金難などを理由に、勧告を無視し続けた。消防署は惨事の半年前には「命令」に切り替えたが結果は変わらなかった。

このほか、横井社長は、約四四〇人いた従業員を、一七〇人に削減して士気を減退させ、行うべき防火訓練などをほとんど行わなかったことも明るみに出た。

事件後、国会で喚問された横井社長は、ぬけぬけと「消防署の指導どおりやってきた」と述べ、傍聴席の遺族や被害者を激怒させた。

火災から九ヵ月後、横井社長らは業務上過失致死傷の容疑で逮捕、起訴された。

一審の東京地裁は、横井社長に対し「営利を追求するあまり、宿泊客の生命、身体の安全確保というホテル経営者としての最も重要で基本的な心構えに欠けていた」として、禁固三年の実刑判決を言い渡している。横井社長は、判決を不服とし、過失責任がなく、被害者らとの補償交渉では、計十四億余円を支払い、和解が成立している、などを理由に控訴、上告したが、最高裁は平成五年一一月、上告を棄却、横井社長の実刑が確定した。

横井社長は、平成六年五月、八〇歳の老躯で獄中の人となった。

火災後、焼けただれたニュージャパンは営業を停止したまま、長い間無惨な姿をさらしていた。火災当時、約三〇〇億円と言われたニュージャパンの地価（八七〇〇平方メートル）は、バブル経済の絶頂期には、一〇倍の約三〇〇〇億円にも達し、横井社長は「戦後最大の焼け太り」と評された時期もあった。

しかし、バブルの崩壊による株式と地価の下落のため、横井社長の負債は膨らむ一方で、ホテル跡地も競売にふされ、横井社長の〝虚業家〟人生の命運は尽きたのだった。

▲夜が明けて、まだ煙が立ちのぼるニュージャパン全景。横井英樹の徹底した〝もうけ主義〟の犠牲になった宿泊客、その関係者の恨みは深い。 共同通信社

### 横井英樹の「虚業人生」一代

横井英樹の名前が一躍世に知られたのは、300年ののれんを誇る白木屋の株買い占め事件（昭和28年）だった。横井は愛知県の農家に生まれ、戦後、ＧＨＱに取り入り、闇物資の販売や不動産で荒稼ぎし、それを原資に株の買い占めを手がけたのである。白木屋株を40％以上手にした時点で挫折し、「強盗慶太」と言われた東急グループの総帥、五島慶太にバトンタッチし、5億円の損害を出したが、「五島門下に入れたのだから安いもの」と言い放った。五島氏を後ろ盾に、横井の乗っ取りが本格化する。東亜石油、東洋精糖、帝国ホテル、大日本製糖などがターゲットとなる。買い占めた会社を自分で経営するケースは少なく、買い占めては高値で手放す利ザヤ稼ぎが得意技だったため、「虚業家」のレッテルを貼られた。旧華族から預託された資金を返さぬ悪どさに、安藤組組長・安藤昇の怒りをかい、昭和33年6月、ピストルで狙撃され、九死に一生を得る一幕もあった。

戦後、引揚げ船として活躍した「興安丸」を入手して東洋郵船を経営し、東洋一のボウリング場などを手がけていたが、火災前後の主力事業はパチンコだった。バブル期には、ホテル跡地に巨大なインテリジェントビルを建設する構想をぶちあげたりしたが、結局実現しないうちにバブルが崩壊。巨額の借金返済が焦げつく中で、獄につながれたのだった。

◀三月二八日、東京・増上寺の四十九日法要で台湾・韓国の遺族に詫びる横井社長。日本人遺族はボイコット。 共同通信社

▶一一月一八日、横井英樹社長は、業務上過失致死傷容疑で逮捕された。写真は連行される横井社長。 朝日新聞社

# 日立製作所、三菱電機社員逮捕の衝撃！
# 「IBM産業スパイ事件」と"日米コンピュータ戦争"

日米のコンピュータ開発戦争は、昭和五七年六月、「IBM産業スパイ事件」が起こり一気に燃え上がった。日立製作所、三菱電機という大企業の社員逮捕、FBIによるスパイ小説さながらの「おとり捜査」。数々の衝撃を日本人に与えたこの事件はまた、情報化社会におけるソフト著作権という新しい価値観を確立させるきっかけとなった。

## FBIの"危険な罠"にかかった日本企業二社

後ろ手に手錠をかけられて、大柄なアメリカ人に連行される、ネクタイ姿の日本人……。

「米国当局が、日本人の産業スパイを摘発！」——昭和五七年六月二三日、午前七時からのテレビ各局のニュースは、アメリカから届いた衝撃的な映像を一斉に映し出した。六月二二日、米国連邦捜査局（FBI）に逮捕されたのは、日立製作所と三菱電機社員ら六人。ほか一二人に逮捕状が出されていた。容疑は世界最大のコンピュータ・メーカーであるIBM社の基本ソフト（OS）やハードウエアに関する最新技術情報を、不法に入手し、米国外へ運び出したというもの。大企業社員の逮捕に加え、一企業の技術流出問題にFBIが乗り出し、「おとり捜査」で日本を"罠（わな）"にはめたという事実に日本人はショックを受けた。

突然降って湧（わ）いた産業スパイ容疑に、二三日午前、記者会見で両社は、「事実関係を調べてみないとわからない」（三菱）、「寝耳に水」（日立）と狼狽（ろうばい）するばかり。しかし午後になって、まず日立製作所が六二万二〇〇〇ドル（約一億六〇〇〇万円）を支払ってIBM情報を買った事実を認める。一方、「濡れ衣（ぎぬ）としか言いようがない」「法廷で潔白を証明していく」と、徹底抗戦のかまえを見せていた三菱電機も、翌二四日には二万六〇〇〇ドル（約六五〇万円）で情報を買ったと認めた。両社の法人と社員一二人は、「盗品移送共謀罪」で起訴されたが、両社とも公訴棄却を請求。その理由はFBIによる「おとり捜査」の違法性にあった。

FBIの捜査報告書によると、おとり捜査の幕開きは前年の一一月六日だった。

共同通信社

▲6月30日、サンフランシスコ連邦地裁での「IBM産業スパイ事件」裁判で、日立製作所関係の起訴状を読むルソニエル連邦地方検事（中央）。

▶6月23日、本社で事件の釈明をする日立製作所コンピュータ事業本部長・波多野泰吉。

時事通信社

▼会見する三菱電機電子事業本部長・太田英男。いっさいの疑惑を否定、法廷で争うと語る。6月23日。

時事通信社

コンサルタント会社社長で「ハリソン」と名乗る人物と接触した日立製作所の主任技師は、IBMの極秘情報の入手を依頼する。「盗むしかない」と答えるハリソン社長に、日立社員が代金を提示することで「商談」は成立した。当時、IBMのソフトがそのまま使える「IBM互換機」を生産する日立製作所にとって、IBMの技術情報をより早く入手することとは最重要課題だったのである。しかし、このコンサルタント会社は、すでに内偵を進めていたFBIが設立したダミー会社だった。「ハリソン社長」の正体はFBI捜査官だったのである。そうとは知らず、日立製作所はその後も接触を重ねて次々に極秘情報を入手。三菱電機も同様の手口で深みにはまっていった。

▲コンピュータ関連企業が集中する米サンタクララのシリコンバレー。今回の産業スパイ事件の舞台となった。 AP WWP

## アメリカ政府の危機感 真のねらいは富士通?

「半導体やコンピュータなど、国の死命を制するエレクトロニクス産業で明確な敵として浮上してきた日本にどう対抗するかが、当時のアメリカの政策的課題でした」と事件の背景を語るのは、ネットワークニュース社の竹田義則氏である。

政府が積極的に保護・育成し、官民一体で「電子立国」をめざしてきた日本のコンピュータ・メーカーは、急速に力を伸ばしていた。IBM互換機メーカーの最大手アムダール社と提携してIBM情報を入手していた富士通は、昭和五四年度の売上高で、ついに日本IBMをおさえて日本市場のトップに立った。昭和四三年以来続く「独占禁止法違反訴訟」によって、真綿で首を締められるような状態におかれていた〝巨人〟IBMにとって、日本のコンピュータ・メーカーの追走は、まさに弱り目にたたり目だった。

また、すでに超LSI(大規模集積回路)の開発競争でも敗れ、世界市場の七〇%を日本に奪われていたアメリカ政府も、次第に危機感を強めていく。

「強いアメリカ」を標榜して登場したレーガン政権のもとで、昭和五六年一月には司法省が独禁法訴訟を取り下げ、IBMを「援護射撃」。日本の追い落としが本格化する最中に起きたのが、「IBM産業スパイ事件」だったのである。

こうした事情を踏まえて、竹田氏は次のように指摘する。

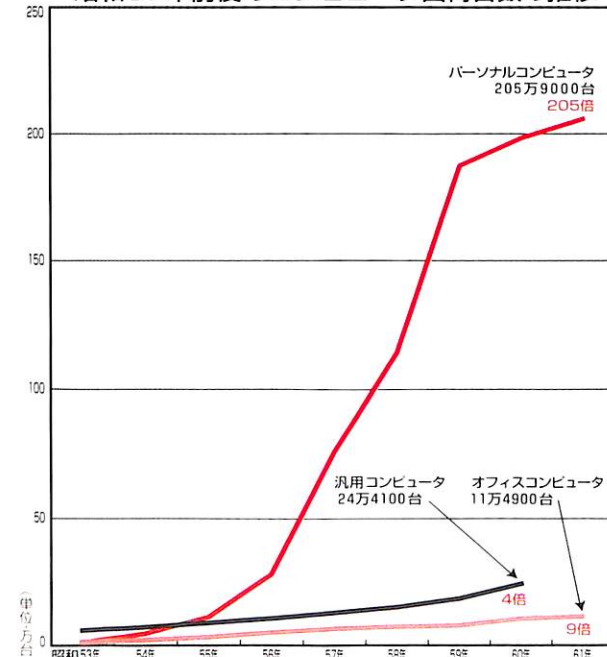
「FBIの本当のねらいは日本でIBMのシェアをおびやかした富士通だった。IBMと並ぶアメリカの代表的企業ATTと光通信ケーブルで争った前歴もある富士通こそが、日本企業の尖兵と映っていたのです。かわいそうなのは三菱電機ですね。アメリカの知名度が高い『三菱』という社名が、日本企業の象徴として利用されたのが真相でしょう」

全面対決で始まった裁判は、昭和五八年にあっけなく終わる。二月八日には、日立製作所本社と社員二人が有罪を認めることで司法取引が成立。三菱電機も同年一〇月二〇日、本社の有罪は認めないものの、社員二人の有罪を認めることで司法取引に合意した。そして、IBMのOSの著作権が全面的に認められる結果となる。

日立製作所と三菱電機は、技術使用料を支払う契約を締結した。また無傷だと思われていた富士通も、IBMの著作権を認める秘密協定に調印し、国産メーカーは次々とIBMの軍門に降ったのだった。昭和五八年の支払額は日立が約一〇〇億円、富士通が約二一億円にのぼった。

しかし、この事件は新しい時代の幕開きでもあったと、竹田氏はしめくくる。

「事件が発生した時、多くの日本人の反応は『ソフトの著作権って何』というものでした。実際、コンピュータ・ソフトに関する世界的なルールも確立されていなかった。しかし、この事件をきっかけにルールが確認されたことで、本当の意味での情報化社会を迎えたのです。そのルールのうえで、日米の技術競争は現在も続けられているのです」

▲IBM会長、フランク・T・ケアリー。典型的なテクノクラートで、IBMの発展に寄与。 AP WWP



**女たちの肖像**

稲葉真弓

# 「ゴルフは私のビジネス」岡本綾子、参加三年目の米公式ツアーで初優勝!

▲ショットのコントロールが身上。

この年の日本時間三月一日未明、外電は「日本のアヤコ・オカモト(三〇)が、プレーオフでサリー・リトル(南ア)を下し、米女子プロゴルフのアリゾナ・コパー・クラシックで優勝」というニュースを伝えた。日本人としては樋口久子以来二人目の米公式ツアー優勝。「国内でいくら勝てても、本場の修羅場で勝てなければ意味がない」と、昭和五五年米女子プロツアーに参加、三年目で手にした勝利だった。

この報に日本のゴルフファンは沸きに沸き、〝本場で勝てない溜飲〟を下げたのだが、彼女は次いで五九年の全英女子オープンを制覇し、全米賞金ランキング三位。六二年には米国ツアーの賞金女王の座(賞金四六万六〇〇〇ドル)を獲得。同時に外国人では初の、史上一五人目の一〇〇万ドルプレーヤーとなった。

愛称〝女ポパイ〟の岡本綾子がめきめき腕をあげた要因には、少女時代から鍛えた強い足と腰があった。昭和二六年広島県安芸津町の農家に生まれた彼女は、中学、高校時代ソフトボールの名投手として活躍、スカウトされた実業団の大和紡績でもエースで四番、キャプテンとして国体優勝をはたした。四七年ゴルフの面白さに開眼、「プロになれば賞金が入る」という点にもひかれ、四九年プロテストに合格、翌年四月には新人戦で四位入賞、一一月には樋口久子を破り初優勝した。

昭和五四年には日本女子プロ選手権を制覇、五六年には優勝八回で賞金ランク一位に。しかし、彼女には旧態依然とした女子プロゴルフ協会への不満があった。米国ツアー参加は日本に見切りをつけ、少女時代からあこがれていた国で自分の人生を築きたいという思いからだったが、それが彼女を〝日本のアヤコ〟から〝世界のアヤコ〟へと押し上げたのである。

持ち前の度胸のよさとチャレンジ精神、加えて「ゴルフは私のビジネスである」という明快な姿勢で全盛期を築いたが、六〇年腰痛でダウン。しかし、二年後、米ツアーで賞金女王に復活。この頃、スポーツカメラマンとの恋の噂が流れたが〝ゴルフを選び〟、まもなく破局。平成二年以降は日本でのツアーにも参加するようになり、五年には日本女子オープン優勝、八年には通算六〇勝目をあげ、花束を手にシャンパンを飲み干す豪快な姿が報じられた。

**勝者・敗者**

阿部珠樹

# 「取られたら取り返せ!」蔦文也率いる池田高校 夏の甲子園で打ちまくる

蔦文也(五八)はプロ野球の〝落第生〟だった。昭和二五年、たった一年だけ投手として東急フライヤーズに在籍したが、一勝もできずにユニフォームを脱いだ。その後、故郷の徳島に帰って、高校の教師をするかたわら、野球部の面倒を見るようになった。学校は吉野川にそった山あいの町、池田町の池田高校である。

徳島は、徳島商業など名門校が目白押しで、山あいの小さな高校の出る幕はなかなかやって来なかった。

蔦のチームが初めて脚光をあびるのは昭和四九年。わずか一一人の部員で春の選抜大会に出場し、準優勝をはたす。「さわやかイレブン」などと呼ばれた。その後、五四年の夏の甲子園でも準優勝するが、どうしても全国制覇には手が届かなかった。

優勝するためにはどうするか。蔦がたどり着いた結論は、打って打って打ちまくることだった。金属バットの時代である。バントで送って点を取り、それを守り切る野球では通用しない。三点取られたら四点、一〇点取られたら一一点取って勝つ。当時珍しかった筋力トレーニングを選手たちに課し、四時間の練習のうち、三時間は打撃練習にあてた。

それがセンセーショナルに開花したのが、この年の夏の甲子園だった。池田高校の選手たちは、緒戦から金属バットの快音を甲子園のグラウンドいっぱいに響かせた。緒戦から決勝戦まで、六試合すべて二ケタ安打。通算六八本で一大会のチーム安打記録を更新した。特に象徴的だったのが、名門・広島商業との決勝戦である。精神鍛練と細かい作戦を得意にする高校野球の典型のような広島商業相手に初回から打ちまくり、一八安打一二点、六回には七連続安打と、完膚なきまでにたたきのめしたのである。

「監督さんを日本一の男にしたかった。それができてうれしい」

選手の一人は優勝を決めた時、そう叫んだ。「男になった」元プロ野球の〝落第生〟の目には、うっすら涙がにじんでいた。

▲8月20日、全国高校野球選手権大会決勝で、池田高校が広島商業を12対2で破り初優勝。写真はジュースで乾杯、喜びに沸く蔦監督と選手たち。 朝日新聞社

ニュース・ファイル

# 1982

## フォト＋日録で再現する365日

地価は二年連続二ケタの上昇、オオクワガタ一匹五万円。〝バブル〟が始まった。また、CD発売や遺伝子組み換え実験が「軽・薄・短・小」時代の到来を印象づけた。そんな中、防災を無視したホテル・ニュージャパン火災、「逆噴射」で日航機が墜落と不祥事が続く。

◀ダイアナ妃(20)王子出産(6月21日)ロンドンのセントメリー病院で夫チャールズ皇太子(33)が見守る中、無事大任をはたした。王子は3200グラム、ウィリアムと名づけられた。写真は8月4日の王子の洗礼式。

イギリス王室代表撮影／AP／WWP

1月

共同通信社

▲全員有罪(1月26日)ロッキード事件全日空ルートで東京地裁が同社幹部6被告に判決。罪名は偽証と外為法違反で、写真の元会長・若狭得治(67)は懲役3年・執行猶予5年を言い渡された。

共同通信社

▲雪の名神高速で50台玉突き(1月19日)岐阜県関ケ原町の上り線で急ブレーキをかけた大型トレーラーがスリップし、中央分離帯に乗り上げて止まり、後続車が次々に追突。11人の重軽傷者を出した。

共同通信社

◀マラドーナ、21歳の神技(1月)アルゼンチンのプロチーム、ボカ・ジュニアーズの一員として日本代表と3戦。写真は24日、東京・国立競技場で行われた最終戦。絶妙の決勝シュートを決めた。

AP／WWP

▲氷結のポトマック川に飛行機墜落(1月13日)ワシントンのナショナル空港離陸直後の事故。乗客・乗員79人中74人と巻き添えになった自動車の4人が死亡。寒さのため、救助目前で力尽きた人も。

◀先生、校内暴力で重傷(1月28日)東京都江東区の中学校で防火扉を降ろして騒いでいた生徒らを注意したところ、下腹を蹴られ腎臓破裂の大怪我。荒れる中学の悲劇がまた繰り返された。

毎日新聞社

◀初の4兆円企業、トヨタ自動車誕生(1月25日)トヨタ自動車工業とトヨタ自動車販売が合併覚書に調印、組織の合理化と経営の活性化をはかった。社長に豊田章一郎(右)、会長に豊田英二(左)が就任。

読売新聞社

### 昭和57年1月

1(金)●松下電器、定年後も同じ仕事を継続できるシニア・パートナー制度を実施。

2(土)●日本初のシーラカンス学術調査隊、マダガスカル島北方のコモロ諸島近海で生息を確認。

3(日)●前年度科学研究費は初の五兆円突破と総理府。

4(月)●韓国政府、日本統治の名残である中・高生の短髪と制服を廃止し自由化すると発表。

5(火)●東京・築地市場の初セリで本まぐろに一キロ二万二五〇〇円の記録的高値。

6(水)●ベーリング海で底引き網漁船「第二八あけぼの丸」転覆。三二人死亡。

7(木)●東京で三三件の「粘着テープ強盗」逮捕。

8(金)●日米安保協議委、極東有事研究着手で合意。

9(土)●戦争アニメ「198X」に反対する会、東映などに製作・上映中止を訴え抗議行動を展開。

10(日)●都内の訪問販売による紛争は今年度五〇〇〇件を超す見こみ、と新聞に。

11(月)●環境庁、照葉樹林がほぼ全滅と調査結果発表。

12(火)●警視庁、「のぞき部屋」を初めて摘発。

13(水)●学術審、遺伝子組み換え実験規制緩和案発表。

14(木)●地価の指標「最高路線価」、二年連続二桁上昇。

15(金)●松竹歌劇団、国際劇場で最終公演(～4月)。

16(土)●低層湿原は水田化などで消滅、と環境庁調査。

17(日)●初の三極通商会議閉幕。貿易で対日批判噴出。

18(月)●京都市に女性書専門の松香堂開店、と新聞に。

19(火)●エジプトとイスラエル、シナイ半島返還協定に調印(4月25日、撤退完了)。

20(水)●「核戦争の危機を訴える文学者の声明」発表。

21(木)●「10フィート運動」市民グループ、映画「にんげんをかえせ」を完成させ試写会開催。

22(金)●沖縄本島でヤンバルクイナを生きたまま捕獲。

23(土)●建設省建築研、太陽光活用の省エネ住宅公開。

24(日)●松戸市のダイエーで「機動戦士ガンダム」のプラモデル売り出しに小・中生殺到。一九人負傷。

25(月)●防衛施設庁、不正落札の銭高組との契約凍結。

26(火)●東京地裁、ロッキード事件で全日空会長・若狭得治らに執行猶予つき有罪判決。

27(水)●日立、大型コンピュータを光通信でつなぐシステムの実用化に初めて成功と発表。

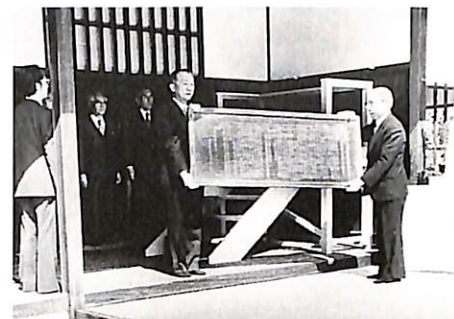
28(木)●前年の日本の自動車生産台数は一一一八万台で世界一、と自動車工業会発表。

29(金)●大型店問題懇談会、出店抑制を通産省に報告。

30(土)●大村市にインドシナ難民保護施設落成。

31(日)●総理府、六割が原発に不安との世論調査発表。

▶東京にサケを呼ぶ会（2月28日）多摩川の環境浄化運動に取り組む市川健夫東京学芸大教授や子どもたちが、東京の多摩川・二子橋近くから稚魚30万匹を放流。このサケは北太平洋を回遊、3~4年後に、300匹程度が故郷に戻って来るという。

読売新聞社

▶台湾人元日本兵の請求棄却（2月26日）第2次大戦中に戦死傷した元軍人とその遺族ら13人が国に補償を求めたが、東京地裁は法的根拠がないと裁定。写真は「血も涙もない判決」と抗議する原告の一人。

朝日新聞社

◀萬屋錦之介の中村プロ倒産（2月4日）テレビ映画製作本数の激減、専務の使いこみなどが原因とされた。負債総額は6億円。萬屋（中央）は49歳。昭和47年まで中村錦之助と名乗り、時代劇二枚目スターとして一世を風靡した。

毎日新聞社

▲困りものイリオモテヤマネコ（2月8日）沖縄県西表島の民家周辺に出没、ニワトリなどの家畜を食い荒す被害が続発したため住民が捕獲。しかし、国の特別天然記念物に指定されているため、やむなく山に放した。

沖縄タイムス

▲東京・築地市場で大火（2月6日）昭和10年に開設以来最大の火災となり、水産物卸商店街1677店のうち96店、約1000平方メートルを全焼。従業員の寝タバコが原因だった。

朝日新聞社

▶日航機「逆噴射」墜落（2月9日）福岡発羽田行きDC-8型機が、羽田空港に着陸寸前、海に突っこんだ。原因は「分裂病」の既往歴を持つ機長の逆噴射操縦にあった。死者24人、重軽傷者は142人にも達した。

共同通信社

## 昭和57年2月

1（月）●東京地裁、クロロキン薬害訴訟で国・製薬会社の過失認め二八億八六〇〇万円を賠償命令。
2（火）●岡崎市で酒乱の父を少年がバットで殴り殺す。
3（水）●ロサンゼルスで不法滞在の日本人一斉摘発。
4（木）●萬屋錦之介の中村プロ、倒産。負債六億円。
5（金）●前年度市町村決算で累積赤字が歳入の八割に。
6（土）●神奈川県山北町で集団赤痢発生（四三人）。
7（日）●大阪で覚醒剤中毒者が妻子ら四人を刺殺。
8（月）●東京のホテル・ニュージャパンで火災。三三人死亡（12月9日、社長・横井英樹ら起訴）。
9（火）●羽田空港着陸寸前の日航機、機長の「逆噴射」で海中に墜落。二四人死亡。
10（水）●第二臨調、第二次答申。許認可の整理など。
11（木）●電電公社、今年度黒字が見こみの三倍と試算。
12（金）●アジア・太平洋地域の森林乱伐で毎年一八〇万ヘクが消滅との国連環境計画報告が新聞に。
●カシオ、腕時計に英語辞書機能の新製品発売。
13（土）●戒厳令下のポーランド、ポズナニで、学生・市民が軍政反対デモ。一九四人逮捕。
14（日）●社会党など、日米陸上部隊初の共同図上演習に抗議し御殿場市で反対集会。
15（月）●自然環境保全審、知床など五ヵ所を新たに鳥獣保護区にするよう答申。
16（火）●電電公社の回線利用してキャッシュカードを偽造、他人の預金を引き出した公社職員逮捕。
17（水）●東証、外国証券会社の会員権取得を認める。
18（木）●中国残留孤児、来日。六〇人中四五人が判明。
19（金）●シンガポール首相、日本に学べキャンペーンで、女性は結婚したら家庭で子育てをと発言。
20（土）●防衛庁、F4ファントム戦闘機の改修計画公表。爆撃装置復活など攻撃力を大幅に増強。
21（日）●増田明美、マラソン初挑戦で日本最高記録。
22（月）●大阪府教委、高校入試に点字導入と決定。
23（火）●米両院合同経済委、日本の半導体脅威と報告。
●イラン、この月三度目の原油値下げを通告。
24（水）●文部省、六〇〇小学校でミニ学力調査実施。
25（木）●環境庁、志布志湾の石油備蓄基地計画に同意。
26（金）●東京地裁、台湾人元日本軍兵士による戦死傷補償訴訟で請求を棄却。
●三協精機、米IBM社への産業用ロボット生産・供給契約を締結と発表。
27（土）●「生活が苦しい」と感じている世帯は四〇㌫で前年比九㌫減、と厚生省調査。
28（日）●岡本綾子、米公式ゴルフ・ツアーで初優勝。



▲ブルトレに牽引用機関車激突（3月15日）未明、国鉄名古屋駅構内で連結を待っていた寝台車6両に突っこんだ。乗客69人のうち13人が負傷。原因は飲酒運転による暴走だった。

中日新聞社

▲桂離宮大修理（3月27日）江戸初期の造営以来約350年ぶり。建物のほとんどを解体、約6年かけて復元した。桂離宮は八条宮智仁親王の別荘として建てられ、数寄屋風書院造の白眉とされる。

京都新聞社

▼「生きている化石」シーラカンス解剖（3月15日）東京・国立博物館分館で東大名誉教授・末広恭雄が執刀。年頭にアフリカで捕獲された8歳のメスで、体重85キロ。未受精卵が30~40個あった。

共同通信社

▶藤沢秀行棋聖、6連覇（3月18日）金沢市で行われた棋聖戦7番勝負最終戦で、林海峰九段（右）を破り、偉業を達成。カド番をしのいで逆転の4勝3敗、あわやの防衛だった。

読売新聞社

▶上野動物園、満100歳（3月20日）日本初の動物園として明治15年（1882）に開園。当初約20万人だった年間入場者は600万人を超え、飼育動物数は1万点以上にも。祝日の21日は無料公開された。

東京動物園協会提供

◀長野県の野辺山に宇宙電波観測所（3月1日）世界最高の精度を誇る直径45メートルのミリ波望遠鏡などが活動開始。数十億光年のかなたからやって来る電波を捕え、星の誕生過程などを解明する。

国立天文台野辺山観測所提供

## 昭和57年3月

1（月）●ソ連の「金星13号」が初の金星軟着陸に成功。
2（火）●個人貯蓄は七・九㌫、三五兆円増と日銀発表。
3（水）●総理府、サラリーマンの実質収入は前年比一㌫減で二年連続の減少と発表。
4（木）●松食い虫被害が全国で一〇〇〇万本と新聞に。
5（金）●劇団四季「エビータ」、日生劇場で上演。
6（土）●米のイルカ保護団体代表が来日、壱岐を視察。
7（日）●犬山市の霊長類研究所で、日本初の人工授精によるチンパンジー出産。
8（月）●札幌市議会、大型店出店の凍結を決議。
9（火）●衆院本会議、防衛費突出の五七年度予算可決。
10（水）●一〇〇〇年ぶりに九惑星による惑星直列現象。
11（木）●厚生省、初のインターフェロン臨床試験決定。
●山形県金山町、日本初の情報公開条例制定。
12（金）●京成電鉄、三三年続いた「行商専用列車」廃止。
13（土）●兵庫県立有馬高校が入学判定に警察の非行歴情報を利用、と教組が暴露。
14（日）●宇治市に一〇〇ヘクの運動公園「太陽が丘」開園。
15（月）●二五㌫の世帯が住宅ローン返済中、月平均約五万円、と総理府調査。
16（火）●東京消防庁、二一社の防災欠陥ホテルを公表。
17（水）●ケニアに日本の経済・技術協力によるジョモ・ケニヤッタ農工大開学。
18（木）●都住宅供給公社、間取りを自由に決められるコーポラティブ住宅を多摩に建設と発表。
19（金）●自民党、相次ぐ自治体の反核決議抑制を指示。
20（土）●芥川也寸志ら「反核・日本の音楽家たち」結成。
21（日）●北海道浦河町沖でM七・一の地震発生。一六七人重軽傷。
22（月）●EC、日本の市場開放をガット提起と決定。
23（火）●愛知県津島市議会、自治体初の非核都市宣言。
24（水）●小野清子、女性初のJOC委員に就任。
25（木）●海上自衛隊の潜水艦、関門海峡で座礁。
26（金）●ヤマハ発動機、五〇ccバイクの最高時速を七五キロにおさえるよう改造と発表。
27（土）●韓国でプロ野球発足。
28（日）●京都で初のそろばん国際シンポジウム開催。
29（月）●協栄ジム会長・金平正紀、世界タイトル戦での薬物使用疑惑でボクシング界追放。
●一五二八校の卒業式で警官警備と警察庁発表。
30（火）●前橋地裁、東邦亜鉛安中鉱害訴訟で公害裁判史上初めて企業の故意責任を認め賠償命令。
31（水）●東京・豊島園の田原俊彦ショーに女子中・高生ら殺到、一八人重軽傷。

◀**五つ子たち入学(4月5日)**男の子二人と女の子3人がそろいの制服を着て東京都大田区の私立清明学園初等学校に入学。母親(33)は「よくここまで事故もなく育ってくれた」と感慨ひとしおだった。

共同通信社

▼**イスラエル、シナイ半島を返還(4月25日)**1967年の第3次中東戦争以来の占領を解き、全面撤退。暗殺されたエジプト大統領サダトの平和外交の結実だった。写真は、半島北部のラファで15年ぶりに掲げられたエジプト国旗。

AP／WWP

▼**日本医師会「武見ワンマン体制」崩壊(4月1日)**会長に反武見派の花岡堅而(71)が当選。昭和32年以来、医療界に君臨してきた武見太郎(78)の威光もおよばなかった。

共同通信社

▶**東京地裁に金属探知機(4月14日)**前月、法廷内でロッキード事件被告・田中角栄が写真週刊誌のカメラマンに隠し撮りされたため。入り口にゲート式探知機を設置、カメラ持ちこみ検査を厳重にした。

◀**韓国南部で警官が無差別殺人(4月26日)**手榴弾とカービン銃を持ち、商店などを次々襲撃。死者は55人にも。犯人(27)は自爆。酔って妻と口論、カッとなっての凶行とみられた。

AP／WWP

▼**渡辺二郎、王座を奪取(4月8日)**プロボクシング世界J・バンタム級選手権戦でパナマのペドロサに大差で判定勝ち。渡辺は27歳。15勝(10KO)1敗。関西初の世界チャンピオンだった。

日刊スポーツ

## 昭和57年4月

- 1(木) ●五百円硬貨、発行。一五年ぶりの新硬貨。 ●京都市、全国初の空き缶回収条例を施行。 ●日本医師会会長に反武見派の花岡堅而当選。
- 2(金) ●アルゼンチン、フォークランド(マルビナス)諸島を占領(25日、英軍反攻)。
- 3(土) ●ヘンリー・フォンダ主演「黄昏」封切。
- 4(日) ●五四特殊法人役員の七割は天下りと政労協。
- 5(月) ●「古今集」など「冷泉家文書」が重要文化財に。
- 6(火) ●警察庁、覚醒剤摘発など薬物対策室を新設。
- 7(水) ●NHK教育テレビ、趣味講座「マイコン入門」を開講。
- 8(木) ●渡辺二郎、J・バンタム級で世界王者に。 ●東京の銀座松屋、女子店員の朝礼前の運動にジャズ・ダンスを採用。
- 9(金) ●西独各地で反核大行進開催。四八万人参加。
- 10(土) ●清酒特級消費は前年比一〇・六%減と国税庁。
- 11(日) ●気仙沼港で韓国船がガス噴出事故。七人死亡。
- 12(月) ●私鉄大手の賃上げ妥結。一四年ぶりスト回避。
- 13(火) ●秋田市教委、スポーツ少年団の活動過熱に対処するため学校施設の夜間使用禁止を指示。
- 14(水) ●新世代コンピュータ技術開発機構、設立。第五世代コンピュータ開発をめざす。 ●ミッテラン仏大統領、来日。
- 15(木) ●渡辺蔵相、五七年度も税収不足と公式表明。
- 16(金) ●東京―大阪の小包輸送をトラックに変更決定。
- 17(土) ●東京都江東区、中国帰国者日本語学級を開設。
- 18(日) ●万引き急増で刑法犯中の女性比増加と新聞に。
- 19(月) ●東京の物価は世界八四都市中二位と米社発表。
- 20(火) ●専売公社、マイルドセブンの売り上げは三〇七六億本でマールボロ抜き世界一と発表。
- 21(水) ●三八度線の非武装地帯で韓国軍と北朝鮮軍が銃撃戦。四人死傷と韓国が発表。
- 22(木) ●第一勧銀、都内の自宅通学大学生への親の出費は月平均六万九〇〇〇円と発表。
- 23(金) ●鹿児島の菱刈金山推定埋蔵量一二〇トンと発表。
- 24(土) ●三笠宮寛仁親王が皇籍離脱を希望と新聞に。
- 25(日) ●来日中のマザー・テレサ、宝塚市・阪神競馬場の「愛と平和の集い」で平和の呼びかけ。
- 26(月) ●韓国で酒酔い警官が銃乱射、住民五五人殺害。
- 27(火) ●群馬県の二輪車販売業界、高校生のバイク禁止運動は営業妨害と県への抗議を決定。
- 28(水) ●余暇は買物・外食が上位と余暇開発センター。
- 29(木) ●大阪府警、教材納入汚職で小学校教諭ら逮捕。
- 30(金) ●子供の小遣いは三年で二割増と日本生命調査。



## 証言・あの日この日
### 椎名　誠(37)

**1月10日(日)**　〈「旅」のこの原稿の締切りが一月十四日となっており、そろそろやらないとこれは大変なことになるな、とあせりつつ再挑戦の態勢に入ったのである。朝九時に起きてすこし体を動かし、朝食をたべてこたつに入る。そうしてコーヒーをのみながらさっそく表が沢山でている「スキー・スケート往復きっぷのご案内」というのを見ていく〉(椎名誠『むははは日記』)

『さらば国分寺書店のオババ』でデビューした「本の雑誌」編集長・椎名誠は、昭和軽薄体と称する、語り口調の文体と、奇抜な企画の連発で(時刻表の読み比べ!)、あっという間にマスコミの寵児となる。また、本好き人間の「いい本めっけた紹介雑誌」という気楽な戦略で、友人たちと創刊した書評同人誌「本の雑誌」も、商業誌の不振を尻目に人気雑誌に急成長する。　(山崎行太郎)

▲**SKD、浅草とお別れ(4月5日)**半世紀にわたる華やかなレビューの歴史も、時代の波には勝てなかった。松竹歌劇団のラストダンスとなった第51回東京踊りに、応援に駆けつけた先輩・水の江滝子や4000人のファンの拍手は長く鳴り響いた。

共同通信社

◀**ピース缶爆弾事件に真犯人(5月25日)**公判中の被告グループとはまったく無関係の人物(中央)が名乗り出た。これで「ピース缶」事件と昭和46年の「日石」「土田邸」爆弾事件を一連の犯行とする検察側の構図が崩壊、28日、全員が釈放された。

毎日新聞社

▼**自衛隊、北海道で最大規模の統合演習(5月)**1万3000人の隊員、航空機140機などが参加。「東北の陸上部隊を増派」との想定で、仙台港から輸送艦3隻が到着、十勝支庁旭浜に戦車が次々に上陸した。

毎日新聞社

▶**佐々木七恵、一躍ヒロイン(5月9日)**東京・国立競技場のスポニチ国際陸上競技大会女子5000メートルで、日本記録保持者・増田明美をラストで抜き去った。

朝日新聞社

▼**日本初「動物園3世ゴリラ」(5月15日)**京都市動物園で、同園生まれのゴリラを父とする子ども(オス)が誕生。母親はアフリカ産。「3世」は至難とされていた。

共同通信社

## 昭和57年5月

- 1(土) ●ワルシャワで連帯支持・軍政反対五万人デモ。
- 2(日) ●官庁保有個人情報は六年で一・五倍と行管庁。
- 3(月) ●ナショナル・トラスト導入の研究懇談会発足。
- 4(火) ●イトーヨーカ堂、輸入缶ジュースに基準超える鉛が含有されていたとして自主回収。
- 5(水) ●江本孟紀『プロ野球を10倍楽しく見る方法』刊。
- 6(木) ●富士通、日本語ワープロ「マイ・オアシス」を発売。初めて一〇〇万円を切り七五万円。
- 7(金) ●川崎市で、シンナーを吸い校舎のガラス一八〇枚を割った中学三年生六人補導。
- 8(土) ●厚生省、遺伝子工学によるヒト・インシュリン臨床試験の第一段階の安全性を確認と発表。
- 9(日) ●安全な食品流通の運動組織「大地を守る会」、牛肉自給のため茨城県美野里町に牧場を開く。
- 10(月) ●三井銀行、新入社員意識調査を発表。男性では仕事優先三八%、個人生活優先三四%。
- 11(火) ●米軍による沖縄空域の独占使用急増と社会党。
- 12(水) ●体協、「スポーツドクター」制度発足を決定。
- 13(木) ●内職主婦の時給は三〇〇円と労働省調査。
- 14(金) ●全国の小中学校の給食で七割が箸を使用、八割が先割れスプーンを併用と文部省調査。
- 15(土) ●埼玉県嵐山町で一二病院に断られ急患が死亡。
- 16(日) ●大阪府警、河内長野市の少女誘拐事件で誤認手配、この日、本人の届け出で潔白確認。
- 17(月) ●川越市の中学校職員室で、非行を親に通報された中学生十数人が暴れ一二人補導。
- 18(火) ●国連環境計画特別会議、ナイロビ宣言を発表。
- 19(水) ●石油公団、中国とオルドス盆地での共同石油調査実施で合意。
- 20(木) ●英の心理学者が「日本人の知能指数は欧米人より高い」との論文を発表。
- 21(金) ●英軍、フォークランド諸島への上陸を開始。
- 22(土) ●京都のMKタクシー、身障者一五%割引申請。
- 23(日) ●国連軍縮総会への東京行動に四〇万人参加。
- 24(月) ●いすゞ自動車、米GM社に小型車供給で合意。
- 25(火) ●「オリエント急行」が復活、第一号列車がロンドンを出発しベネチアへ向かう。
- 26(水) ●日本ビクター、世界最小のVTRを発表。 ●中国野菜の売り上げが急増、と新聞に。
- 27(木) ●最高裁、公務員の採用内定の法的効力を否定。
- 28(金) ●国鉄、職員・家族への無料パス全廃と決定。
- 29(土) ●「川崎病」急増、患者数は過去最高と新聞に。
- 30(日) ●関東など一〇都県で空き缶回収運動を実施。
- 31(月) ●米、軍縮総会出席の原水協関係者のビザ却下。

▲東北新幹線開業（6月23日）石油危機や騒音公害などで開通が遅れて、大宮発着という変則運転を強いられたが、盛岡まで3時間17分、従来より2時間半も短縮。

時事通信社

▼趙紫陽中国首相、京都訪問（6月4日）日中国交正常化10周年を記念して来日。公式日程を終えたこの日は、二条城内の庭園で裏千家家元・千宗室の勧めで、みずから茶を点てた。

共同通信社

▼首都高で木材降る（6月15日）江戸橋インター付近で大型トレーラーが側壁に衝突、積んでいた木材1000本が落下。トラック2台にあたり、一人死亡、一人が重傷。

朝日新聞社

▲小錦、来日（6月20日）ハワイ巡業中の高見山（現・東関親方）の誘いで高砂部屋に入門。18歳。身長188センチ、体重170キロ。平成9年11月引退、年寄佐ノ山を襲名。

日刊スポーツ

◀ロッキード裁判、元運輸相らに有罪（6月8日）東京地裁は橋本登美三郎（81）と佐藤孝行（54）の全日空からの受託収賄を認定。写真は6日、郷里茨城で慈母観音に祈る橋本。上告中、死去した。

共同通信社

◀連合赤軍事件の永田・坂口に死刑（6月18日）東京地裁は14人を殺した「総括」を「殺意明白」と断定するなど、リンチ殺人・浅間山荘銃撃事件に厳しい判決を言い渡した。

共同通信社

## 昭和57年6月

1（火）●二四都府県の郵便局で、公共料金など自動払い込みの取り扱いを開始。

2（水）●十代の中絶が初めて二万件突破と厚生省発表。

3（木）●日本親子心中絶滅予防協会、設立。

4（金）●文部省、校内暴力対策の手引書を全国に配布。

5（土）●公取委、ガソリンスタンドの安売り看板を撤去させた石油一三社に独禁法違反と警告。

6（日）●ニュージーランドのマラソン大会で、佐々木七恵が二時間三五分〇秒の日本最高で優勝。

7（月）●第二回国連軍縮特別総会、開幕。

8（火）●ロ事件で橋本登美三郎と佐藤孝行に有罪判決。
●東京高裁、「愛のコリーダ」裁判で大島渚らに無罪判決（確定）。

9（水）●初の米大学分校、テンプル大日本校が開校。

10（木）●環境庁と東京都、初の騒音シンポジウム開催。

11（金）●環境庁の南硫黄島学術調査団、絶滅寸前のオガサワラオオコウモリの生息を確認。

12（土）●「'82北海道博覧会」開幕（〜8月22日）。

13（日）●第一回日中対抗水泳大会の二〇〇㍍自由形で簗瀬かおりが日本新で優勝。

14（月）●日本電気、米にパソコン製造工場建設と発表。
●フォークランド戦争でアルゼンチンが降伏。

15（火）●首都高速でトレーラーが壁面衝突。木材一〇〇〇本が落下し、下の道路で二人死傷。

16（水）●諏訪精工舎（現・セイコーエプソン）、世界初のテレビつき腕時計を製品化（12月発売）。

17（木）●三越、納入業者への押しつけ販売を認める。

18（金）●東京地裁、連合赤軍事件の永田洋子・坂口弘に死刑判決。

19（土）●神戸市でラジオ騒音からアパートの隣人刺殺。

20（日）●地方中心に父子家庭の互助組織進むと新聞に。

21（月）●新潟水俣病未認定患者九四人、国と昭和電工に損害賠償求め提訴。初めて国の加担を追及。

22（火）●米・FBI、IBMへの産業スパイ容疑で日立製作所・三菱電機の社員ら六人を逮捕。

23（水）●東北新幹線の大宮—盛岡間、開業。

24（木）●長崎の被爆者・山口仙二、国連軍縮総会で演説。

25（金）●和歌山県太地町で捕鯨存続現地総決起大会。

26（土）●新聞各紙、文部省の教科書検定結果を報道。「侵略」を「進攻」、「弾圧」を「鎮圧」など。

27（日）●台風予報大はずれ、金華山沖で漁船二隻遭難。

28（月）●島原市での日教組大会、右翼妨害で分散開会。

29（火）●米ソ、戦略兵器削減交渉（START）開始。

30（水）●総理府で戦後処理問題懇談会、初会合。



# 「現場」を歩く 日向

## 有人走行に成功したリニア実験線の跡地利用案、ただ今募集中！

山本徹美

▲実験を終えて、日向の実験センター格納庫におかれているリニアモーターカー。 但馬一憲

昭和五七年九月二日、宮崎県日向市から児湯郡都農町にかけて敷設された国鉄（現・JR）の実験線で、リニアモーターカーが有人浮上走行に成功した。

試乗したのは京谷好泰リニア鉄道実験推進本部長らスタッフ三人。京谷本部長は旧制六高時代、独学で磁力の研究と取り組み、昭和二三年、京大工学部を卒業と同時に国鉄入社。同三七年、新幹線が開業する二年前の時点で、「東京から大阪まで一時間で行く方法がある」と提案、国鉄におけるリニアモーター推進浮上式鉄道の研究発足に一役かった。

開発は当初、鉄道技術研究所（東京・国分寺市）内で進行、四七年、超電導磁気浮上式推進実験車の浮上走行に成功。五四年、宮崎に総延長七キロの高架線（ガイドウェイ）と、実験センターが完成すると、そちらへ本拠地を移す。

浮上式高速鉄道の実用化に向け、クリアすべき第一関門は有人走行だった。最高速度こそ二六二キロだったが、安全に走行、停止できることを確認。磁気浮上の研究は米国、ドイツなども進めていたが、世界に先駆けての成功である。

その後六二年二月には、四〇〇・八キロの有人走行に成功するが、二ヵ月後、国鉄解体。実験は(財)鉄道総合技術研究所が継承。時速五〇〇キロでの安全走行を確認するためにはもっと長い距離での実験が必要と、山梨に新実験線の建設を計画。平成元年、運輸省に承認され、移動。

### 使命を終えたリニア発祥地

平成九年一二月、日向市美々津にある実験センターに行ってみた。月橋信夫所長（五五）の案内で保管されている二台の車両や指令室を見学する。

「平成一〇年四月以降は未定ですが、それまで、私と職員の二人が安全点検のため詰めています。事前に連絡をいただければ、どなたでも見学できますよ」

これまでに参観者は約一〇四万人。ある米国政府高官は、日向灘に航空母艦を停泊させて、リニア施設を丸ごと持ち帰りたい、ともらしたという。

平成九年四月、日向市と都農町、宮崎県、運輸省、鉄道総合技術研究所では「宮崎実験線検討委員会」を設置、施設の有効利用について話し合った。

「インターネットにホームページを開設し、プランを募集しているのですが、残念ながらこれといった妙案は、まだありません」（日向市役所・森孝之企画課長）

リニアはJRだけではなく、松下電器、三菱電機、東芝などの研究所や科学技術庁、東大と、わが国を代表する頭脳と技術が結集して作り上げてきた。その背景には東海道新幹線が、老朽化や地震などの災害で使用不能におちいった際のバイパス的役割と、超過密ダイヤ解消の意図があると聞く。山梨の実験線は東京—大阪間を結ぶ中央新幹線として流用もできる。実験地は移ったが、ここが「夢の跡」とならないことを私は願う。

▲昭和57年9月2日、世界初の有人浮上走行に成功。写真左が京谷好泰リニア鉄道実験推進本部長。

## ベストセラー

# 「〇倍……する」「気くばり」書名の一部が流行語になった

この年は、タイトルに使われた単語やフレーズが流行語となるほど、爆発的に売れた本が多かった。

『プロ野球を10倍楽しく見る方法』は、"ベンチがアホやから野球がでけへん"という強烈な台詞が原因で現役を退いたと伝えられていた、江本孟紀・元阪神投手の著書。中身がプロ野球をたしかに面白く見せる暴露話なので売れに売れ、"〇倍……する方法"という表現を大いにはやらせた。しかし、書かれた暴露話は、陰湿なものではなく、選手や監督の知られざる一面をユーモラスに描いたもので、テレビ観戦のいわば裏テキストになった。ある捕手が交代を命じられた時にミットをホームベースにたたきつけた一件で、その捕手とチーム首脳との確執が噂されたが、実際は肩の故障による交代にすぎなかったことが明らかにされるなど、グラウンドに立つものでなければ知りえない話ばかりだった。

NHKのアナウンサーで芸能人並みの人気を得ていた鈴木健二アナの『気くばりのすすめ』も売れた。こちらは仕事の場でも役に立つ本だった。著者ならではの幅広い調査と取材によって得られた具体例をあげながら、忙しい現代人から失われつつある"気くばり"の大切さを説いた。サラリーマンにとっては人間関係を円滑にするハウツー本でもあった。

また、俳優・穂積隆信の『積木くずし』は、年少者の非行や家庭内暴力がクローズアップされてきた時代に、自分の娘の非行化との闘いをこと細かに書いて注目された。著者とその妻に対する警視庁少年相談室員のアドバイスが、世の親たちの"常識"をくつがえすもので、その点でも十分衝撃的だった。

●昭和57年のベストセラー

| 順位 | 書名(著者/出版社) |
|---|---|
| 1位 | 『プロ野球を10倍楽しく見る方法』(江本孟紀/KKベストセラーズ) |
| 2位 | 『悪魔の飽食』(森村誠一/光文社) |
| 3位 | 『窓ぎわのトットちゃん』(黒柳徹子/講談社) |
| 4位 | 『気くばりのすすめ』(鈴木健二/講談社) |
| 5位 | 『親離れするとき読む本』(神津カンナ/青春出版社) |
| 6位 | 『プロ野球を20倍楽しく見る方法』(江本孟紀/KKベストセラーズ) |
| 7位 | 『続・悪魔の飽食』(森村誠一/光文社) |
| 8位 | 『積木くずし』(穂積隆信/桐原書店) |
| 9位 | 『日本国憲法』(写真編集部/小学館) |
| 10位 | 『人類は地球人だけではなかった』(矢追純一/青春出版社) |

全国出版協会出版科学研究所

▲『プロ野球を10倍楽しく見る方法』(670円)

▲『気くばりのすすめ』(980円)

▲『積木くずし』(980円)

## スターと名場面

# 「蒲田行進曲」「転校生」「E.T.」と並び邦画も話題に

配給収入で一〇〇億円に迫る日本記録を樹立した、スピルバーグ監督の『E.T.』が興行界の話題を独占した感のある年だったが、邦画でも何かと話題豊富な年だった。まず、気鋭の演出家、つかこうへいのヒット作『蒲田行進曲』を角川映画が映画化し、人気を呼んだ。"新撰組"の映画を撮影中の撮影所が舞台で、映画スター・銀ちゃんに、銀ちゃんを慕う大部屋俳優、銀ちゃんに捨てられた落ち目の女優などが複雑微妙にからんで、登場人物の感情の起伏を細やかに描いた映画となった。

また、自主製作映画出身の大林宣彦監督が『転校生』でヒットを飛ばしたのもこの年だった。幼なじみで今は中学生の男の子と女の子との間で、体が入れ替わってしまうという奇想天外な話なのだが、心にしみるところのある青春映画だった。大林監督の出身地・尾道が舞台で、このあとも『さびしんぼう』など、いわゆる"尾道もの"が続く。

ピンク映画で評価の高かった高橋伴明監督が、人生を突っ走って自爆する若者を描いた『TATTOO〈刺青〉あり』で、新境地を開いたのも話題になった。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。

『さらば愛しき大地』(根津甚八)
『鬼龍院花子の生涯』(夏目雅子)

松竹提供

▲『蒲田行進曲』では、つかこうへい劇団の風間杜夫が銀ちゃん役(中央)を、平田満が大部屋俳優役(左)を演じ、相手役の女優は松坂慶子(右)だった。

東宝提供

▶少年と少女の体が入れ替わってしまう『転校生』で、尾美としのり(左)と小林聡美(右)が好演した。

東宝提供

▲『TATTOO〈刺青〉あり』で主役の男を演じ注目された宇崎竜童。



## モノ語り'82

# "電子化"時代に対応した新商品開発!「コダック・ディスクカメラ」「コンパクトディスク」「テレホンカード」

◀オーディオ革命の担い手が登場　10月1日、「コンパクト ディスク デジタル オーディオ(CD)」システムのプレーヤーと、そのソフトであるコンパクトディスクが発売された。直径12センチのディスク片面で、従来のLPレコード両面分の音楽などを再生でき、しかも光学系の再生システムなので、ディスクは磨耗せず、基本的にその音質は変わらないという、革命的音響システムだった。ハードをソニーが16万8000円で、ソフトをCBS・ソニーが1枚3500円と3800円で発売し、またたく間に従来のレコードシステムを駆逐した。ソフトは、日本コロムビアなどからもこの年発売された。

▼冬でも楽しめるアイスクリーム　アイスクリームと和菓子の代表格である大福を合体させた、ロッテの「雪見だいふく」が、大ヒットした。開発初期段階では、アイスクリームをマシュマロで包んだものができ、"わたぼうし"として売り出された。しかしさらに開発を進め、マシュマロに代えて餅で包むことに成功、みごとに和菓子との混合アイスクリームができたのである。1パック100円で、学校給食に登場するほどの人気商品となった。

▲遊び感覚にあふれた筆記具を楽しむ　紙など吸収性のある素材に線を描くと、そのままシルバーの縁がつくという「ふちどりマーカー」が、サクラクレパスから発売された。遊び心を刺激する筆記具として人気を呼び、文具に新しい分野を切り開いた。1本300円と600円。

▼電子化を徹底的に進めたカメラ　ロールフィルムの代わりに小型のディスク(円盤)フィルムを使用する超薄型カメラ「コダック・ディスクカメラ」が、イーストマン・コダック社で開発され、日本では長瀬産業から発売された。カメラのイメージを変える形態で、しかも電子機構をフル活用し、すべての調整を自動的に行うなど、画期的な内容だった。1万9800円、2万4800円、3万4800円の3機種があった。

◀使い捨てを最も歓迎された商品　おむつは1日に何回も取り替えるため、その洗濯に要する時間と労力は大変なものだったが、この年ユニ・チャームが、使い捨て紙おむつ「ムーニー」を発売して、お母さんたちを一気にその手間から解放することになった。この年最大のヒット商品とする調査結果もあるほど、爆発的に売れた。MとLのサイズがあり、厚みは三つ折り状態で22ミリ。1枚当たり70円～80円だった。

▶永遠のテーマを追ってヒットした育毛料　資生堂がこの年発売した育毛料「薬用不老林」が大ヒット商品となった。薄毛や脱毛の原因となる男性ホルモン活性化を抑制し、毛母細胞を活性化することなどをうたい、男性の永遠の悩みに的確にこたえる印象を与え、ロングセラー商品にもなった。1本3500円だった。

◀カードの時代がやって来た　この年の暮れ、東京都内にカード式公衆電話が登場し、現金不要のカード時代到来を予感させた。同時に、500円、1000円、3000円、5000円のテレホンカードも発売されたが、硬貨を用意しなくてもよいために、遠距離通話などがしやすくなった。しかしカードには偽造されやすいという弱点もあり、のちに3000円以上の高額カードは廃止された。

人物クローズアップ

# 糸井重里（三三）

## 「おいしい生活。」の大反響でコピーライターを"花形"に

◀昭和56年、西武百貨店のCMキャッチフレーズは、糸井の作品「不思議、大好き。」。これが大ヒット。

SEIBU 西武

不思議、大好き。

西武百貨店提供

昭和五七年の一月一日から、東京・池袋の西武百貨店で、糸井重里（三三）のコピーによる「おいしい生活。」のキャンペーンが繰り広げられた。

昭和五〇年代も後半に入り、人々は同一性よりも多様性を、画一性よりも独自性をより強く求め始めていた。こうした中で西武百貨店は、購買層の中心を三〇代前後の世代におき、頻繁に店内を改装する「リフレッシュ商法」を打ち出し、前年の、同じく糸井のコピーによって大きな反響を呼んだ「不思議、大好き。」キャンペーンに続いて、この年「おいしい生活。」のキャンペーンを展開したのである。「おいしい生活。」とは、特に食品をさすわけではなかったが、同年一〇月八日、同百貨店に「食品館」がオープンし、それが、従来の食品売り場の持つ、ともすれば所帯じみたイメージを一掃したことから、このコピーは、より強いインパクトを与えることになった。

そして糸井重里は、このキャンペーン展開により、一躍広告業界の寵児になるとともに、コピーライターという職業を憧れの花形職業にしたのである。

糸井重里は、昭和二三年一一月一〇日、群馬県前橋市生まれ。昭和四二年、前橋高校卒業後、法政大学文学部入学。法大中退後、コピーライター講座にかよい、広告代理店に勤務した後、四六年に独立した。

五〇年、トーメンの「このジャンパーのよさがわからないなんて、とうさん、あんたは不幸な人だ」というコピーで、東京コピーライターズクラブ新人賞を受賞、業界に名を知られるようになった。その後、コピーを中心に歌謡曲の作詞、CMソング、エッセイ、脚本なども手がけ、歌謡曲では五四年に「TOKIO」、五六年には「春咲小紅」などがヒット、その多才ぶりは若者たちの憧れのまととなった。さらに六三年、人気アニメ映画「となりのトトロ」に声優として出演、飄々とした父親役を演じた。

広告の製作には、多くの人々が参加する。これらスタッフたちをたばね、全体を統括する製作者をクリエイティブ・ディレクターと言うが、グラフィックを中心としていた時代にはそれを、デザイナーであるところのアート・ディレクターが行うのが普通だった。ところが五〇年代に入ると、広告量が増大し、内容も複雑化するにつれて、コピーが広告クリエイティブの核になり始め、コピーライターが注目されるようになった。こうした時期に糸井をはじめ「おしりだって、洗ってほしい」などのコピーを書いた仲畑貴志ら才能あるコピーライターが登場することになったのだが、しかし、当時はまだコピーのはたす役割が認識され始めたばかりの時期だった。

「あの当時は、広告チームが今よりもっと小さな集合体だったので、コピーは後まわしでも進行できました」と糸井は語る。

しかし、こうした時期に作られた糸井のコピーは、その後の広告におけるコピーライターの地位を飛躍させただけでなく、一般にも"コピー"という言葉を定着させる大きな契機となったのである。

おいしい生活。

▲昭和57年、「おいしい生活。」のCMが話題に（写真は『年鑑日本のグラフィックデザイン'83』より）。



▲作詞、コミックの原作、ディスクジョッキーなど、さまざまなジャンルで、独特の"感覚的言語"を駆使した。写真は昭和59年、「小説現代」での山藤章二との対談の席で。

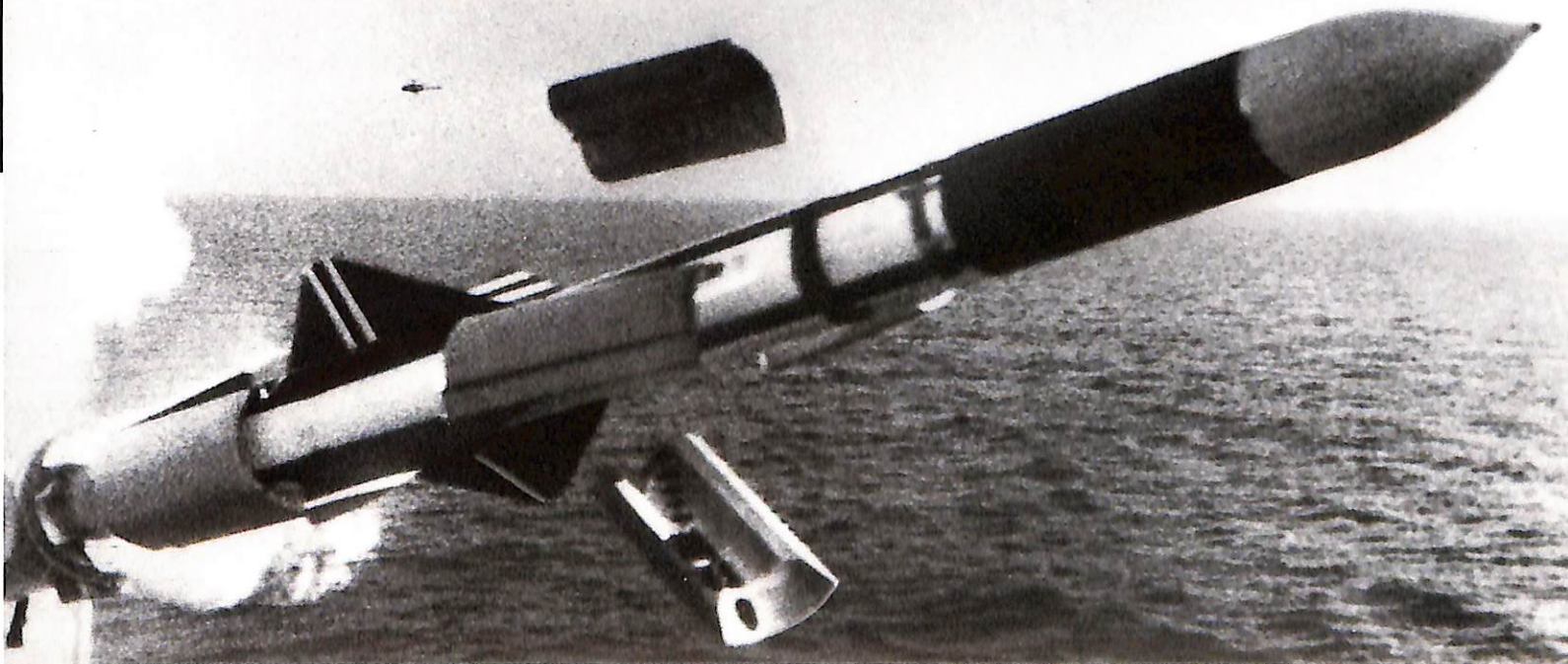
決定的瞬間

# 「エグゾセ」に世界が仰天！サッチャーの"鉄の決断"でフォークランド戦争に突入

アルゼンチンの南端沖合いに、面積一万二〇〇〇平方キロ（新潟県程度）、六万頭の羊とイギリス系住民約一八〇〇人が住む小さな島々がある。このフォークランド諸島をめぐり、世界を震撼させるような戦争が始まった。

フォークランド諸島に重要な資源が眠っているというわけではない。イギリスとアルゼンチンとは、領有権をめぐって交渉を重ねていたが、アルゼンチンの大統領、レオポルド・ガルティエリ（一九八一年一二月就任）が、「フォークランド諸島の奪回」という建国以来のテーマを持ち出したのがきっかけであった。そこには、高い失業率と深刻なインフレから国民の目をそらせる目的があった。

四月二日未明、アルゼンチン軍約二〇〇〇人はフォークランド諸島に上陸し、七九人のイギリス海軍陸戦隊員を捕虜にした。サッチャー首相がアルゼンチン軍の動きを知ったのは三月三一日、水曜日の夕方（イギリス時間）であった。「私はその水曜日の夕方のことは忘れはすまい」と語っている。外務省、国防省との緊急会議の席上、「奪回はむずかしい」との各省の見解に対して、「もし侵略されたら、取り戻さなくてはならない」（『サッチャー回顧録』上／日本経済新聞社）と断固たる調子で主張。この時点から、外交、軍事、広報、あらゆる機関が総動員され、一万三〇〇〇キロの彼方に大艦隊が派遣されることとなったのだ。

四月二日夜にはアルゼンチンと国交断絶。侵攻三日後の四月五日には、空母「ハーメス」「インビンシブル」二艦を中心とする四二隻のイギリス海軍機動部隊が出撃した。一方、迎え討つアルゼンチン軍は空軍が主体で、フランスより購入していた最新兵器エグゾセ・ミサイル（艦対艦、空対艦）が装備されていた。

エグゾセは、全長四六八八ミリ、重量六五〇キロ。最大速度マッハ〇・九三（時速約一一〇〇キロ）、最大射程距離五二～七〇キロの性能を誇り、五月四日イギリスの駆逐艦「シェフィールド」（三五〇〇トン）は、アルゼンチンの戦闘機から発射されたエグゾセによって撃沈された。エグゾセは二発発射され、うち一発が命中。この一発で艦は沈没する。イギリスは装備から考えて自国の軍艦が沈められようとは考えてもいなかった。それが、たった一発のミサイルで沈められてしまったのだ。この事実はイギリス海軍にショックを与え、世界を驚かせた。

イギリスの艦隊は、アンドリュー王子を乗せた空母「インビンシブル」を中心に、ひたすらフォークランド諸島に結集を続けていた。

五月二一日（現地時間）未明、一二隻で編制された上陸部隊がサンカルロス湾に進入した。人員のほか、武器・弾薬・食料・各種装備・防寒具など膨大な物資を陸揚げしなければならない。夜が明け始めるとともに、約一〇〇機のアルゼンチンの航空機攻撃が本格化し、湾内のイギリス船隊は甚大な被害を受けた。しかし、この作戦で上陸した地上軍は五〇〇〇人にのぼり、これがイギリス勝利の決定打となった。六月一四日には補給のとだえたアルゼンチン軍九〇〇〇人は戦意を失い降伏。島都ポートスタンリーにユニオンジャックの旗が揚がった。

戦闘での戦死者数は、英国側二五五人、アルゼンチン側七〇〇人以上、計約一〇〇〇人であった。

◀アルゼンチン空軍機の500ポンド爆弾により、イギリスのフリゲート艦「アンテロープ」が爆撃された瞬間。翌5月24日に沈没した。

マーティン・クリーヴァー（PA）／AP／WWP

▶エグゾセ・ミサイル。一発約四五〇〇万円。その後価格が急騰し、三～五倍にもなった。

AP／WWP

◀発掘された東回廊の連子窓。倒壊後およそ1000年間、地中に埋もれたまま、奇跡的に残った。最古の寺院建築である。

美の出会い

# 一〇〇〇年間、地中に！飛鳥時代の山田寺跡から法隆寺より古い回廊発掘

昭和五七年一一月一日の新聞各紙は、飛鳥時代の山田寺跡（奈良県桜井市山田）から、木造建築の一部が倒壊したままの状態で出土したことを、大々的に報じた。新聞の一面には「最古の寺院木組み出土」（「朝日新聞」）、「飛鳥の里『世界最古』に興奮」（「読売新聞」）、「最古！　飛鳥時代初の建造物」（「奈良新聞」）などの大見出しが躍った。

山田寺跡の調査が開始されたのは、六年前の昭和五一年。奈良国立文化財研究所の飛鳥藤原宮跡発掘調査部があたり、この年の第四回発掘調査で、東回廊の連子窓、エンタシスの柱、頭貫などの建築木部が発掘されたのである。初期仏教寺院の姿をしのばせるこれらの発見は、現存する最古の木造建築である法隆寺の西院伽藍よりも三〇～四〇年ほどさかのぼるもので、昭和四七年の高松塚古墳壁画の発見に匹敵するほどの興奮を引き起こした。

さっそく、この月の四日と五日の二日間、発掘現場の特別公開が行われると、近畿圏はもちろん、全国から古代史・考古学ファンが押し寄せてきた。地元の桜井警察署は六人の警官を派遣して交通整理にあたり、農家は庭先を駐車場にして「一台四〇〇円」の看板を出すほどだった。観客は四日に三〇〇〇人、五日は七〇〇〇人に達し、「信じられない！」「感激！」などの言葉を連発していた。

古代建築史の藤島亥治郎東京大学名誉教授は、「毎日新聞」の取材に答えて、「頭貫の上に長押がないことや連子窓のデザインも法隆寺とは違い、非常に興味深い。全体に素朴で雄大なつくりで、飛鳥時代の特徴がよくわかる」と感嘆の声をあげている。

発掘調査は、以後、平成六年まで九回にわたり行われる。東西一一八メートル、南北一八七メートルの寺域の中に中門、塔、金堂、講堂が南北一直線に並ぶ四天王寺式伽藍配置であることがわかり、回廊が塔と金堂を囲っていることが明らかになった。

山田寺の建立の経緯については、八世紀末頃に成立したとされる「上宮聖徳法王帝説」に記述されており、創立年代がはっきりしている。それによると、建設の開始は舒明天皇一三年（六四一）のこと。蘇我氏の一族である蘇我倉山田石川麻呂が氏寺として発願し、皇極二年（六四三）に金堂の建設が始まり、大化四年（六四八）には僧が住むようになった。翌大化五年、石川麻呂は謀叛の疑いをかけられ山田寺で自害。工事は一時中断するものの、天武期に入ると本格的に進められ、天武七年（六七八）に丈六仏が鋳造される。この像が、現在、興福寺に残されている山田寺仏頭である。

石川麻呂の三七回目の命日にあたる天武一四年（六八五）三月二五日、開眼法要が営まれ、山田寺は発願から四四年を経てようやく完成したのである。

飛鳥資料館の岩本圭輔氏によると、六世紀末に建てられた最初の仏教寺院である飛鳥寺は、百済から来た瓦博士や鑪盤博士によって建てられたものだが、それから五〇年後の山田寺建立には、誰が造営にあたったか、百済の技術がどのくらい伝えられていたかはわかっていないという。

「ただ言えることは、法隆寺と比べて細かい違いはあっても、基本的な技術は変わっていません。法隆寺が檜で造られているのに対し、山田寺は楠や松を組み合わせているのが特徴です」

蘇我馬子により飛鳥寺が建てられ、その後、諸臣が競って氏寺を建立していった。こうした初期寺院のひとつである山田寺から建築木材が出土したことは、当時の建築文化を解明するうえで貴重な大発見であった。発掘された木材はポリエチレングリコールに浸けておいて、五年の歳月をかけて固めるという化学処理を行い再現され、現在、山田寺跡に近い飛鳥資料館で展示されている。

◀飛鳥時代の遺構が発見された奈良県桜井市山田の山田寺跡発掘現場。

▲再現された東回廊。出土した木材を化学処理して当時の姿を復元した。

奈良国立文化財研究所提供（3点とも）

## 20世紀博物館

# 豊田町香りの博物館

## 藤の花にまつわるヒロイン伝説の町にできた“パルファン・フォーレ”

静岡・豊田町

桑原茂夫

香りは限りなく感覚的でコレクションしにくいところがあるため、文化史的に重要な意味を持っているにもかかわらず、博物館のテーマには生かされてこなかった。ところが、香りに縁の深い歴史と産業を持つ静岡県豊田町が、町作りの一環として、その名もずばり「香りの博物館」、愛称、パルファン・フォーレ（香りの森という意味）を、平成九年一一月に開設した。藤の花にまつわるヒロイン伝説を持ち、強い香りを放つキンモクセイを町木にし、香料会社（高砂香料工業）が立地するなど、まさに香り一色の町にできた香りの博物館なのである。

博物館は、四〇〇平方メートルの建物の中に、香りに関するもの、たとえば日本古来の香道などで用いられてきた香りを楽しむ道具や、香水を含むいろいろな香料の容器などを展示し、香りに関する文化史的な話題をアニメビデオやパネルで展開している。それに加えて、実際に香りを体験したり、香料を作るコーナーを設けて、視覚だけでなく嗅覚をも刺激するようになっている。

折からアロマテラピーなど、香りの効用にも大きな関心が向けられていることもあって、好評を得ているようだ。

ところでアロマテラピーというと、古代ギリシャの医師・ヒポクラテスがすでに香りの効用に着目していた。すなわち心地よい香りを脳に送りこむことで、心身を癒すことができると考えたのである。

さらに時代をさかのぼって、古代のメソポタミアやエジプトでは、香りを神々へのメッセージとみなしたり、香りで身を包むことによって心身が浄められるとする信仰が生まれていた。この博物館には、そうした背景を持つ古代エジプトの香油壷なども展示されており、古代の人々の、香りに対する関心の高さを実感させられる。

面白い話題も紹介されている。ミイラという言葉のもとは、強い香りを持つ樹脂“ミルラ”にあったという話もそのひとつだ。ミルラの香りには、屍体の腐敗を防ぐ力があるとされていたのである。また、マケドニアのアレキサンダー大王は、幼少の時から香料が好きで、乳母から“シバの国にはよい香料がたくさんある”と聞かされ、長じて東征を行う動機となったという伝説もあるそうだ。

近世に入ってからのものでは、一八世紀ペルシャの薔薇水撒水瓶や、ほぼ同時期にフランスで作られた凝った形の奇妙な香水瓶などが展示されている。前者は当時最高の香料とされた薔薇の花のエキスを水の上に浮かべた“薔薇水”を詰めた瓶であり、後者の香水瓶の背景には、町中に排泄物などの悪臭が漂っていたヨーロッパの都市状況がある。

このほか、もちろん中国や日本の香り文化に関してもさまざまな展示がなされており、企画展も随時行われている。開館記念の特別展として、「日本の香り」をテーマに、香道用の道具を納めた「十種香箱」などの貴重品が並べられた。まことに香りいっぱいの博物館なのである。

▲洒落た雰囲気の館内展示コーナー。右手前にペルシアの「薔薇水撒水瓶」が見える。 兎沢三果

◀館入り口の左側には、香りをテーマにした料理を楽しめるレストランがあり、右側には、自分で香水を作るコーナーがある。なおこの向かい側には香木などを植えた「香りの公園」が広がっている。

▼香りを体験するコーナー。5つのブースがあり、5種類の香りが楽しめる。手前のブースが「ラベンダーの部屋」。

▼植物からよい香りの油を抽出した「香油」を入れた、古代エジプトの香油壷。大理石の一種でできている。

▲ブースの中には風船が浮いているように見え、これに手を伸ばすと風船がはじけ、香りが広がる。

●豊田町香りの博物館
静岡県磐田郡豊田町立野五七六
☎〇五三八―三六―八八九一
JR東海道本線豊田町駅から徒歩五分
開館時間＝一〇時～一七時
休館日＝月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
入館料＝一般三〇〇円



## “岡田ワンマン”の息の根をとめた不祥事

# 三越に持ちこまれた「総額21億円余」「古代ペルシア秘宝展」贋作騒動！

▲8月24日から30日まで、東京・日本橋の三越本店で開催された「古代ペルシア秘宝展」。47点が出品されたが、後に大半が偽物と判明、大騒ぎとなった。 共同通信社

「一〇年間の社長在任中に八八八億円の利益を上げた私が、どんな損害を与えたというのか」――岡田元社長の声を詰まらせながらの陳述に、裁判長は「企業を私物化する歴史だった」と断罪した。昭和五七年、国内を揺るがした名門企業、三越トップの“追放劇”は、実におそまつな贋作疑惑で幕を開けたのである。

### 「朝日新聞」が疑惑を報道 真相は謎だった「秘宝展」

東京・日本橋の三越本店は「最近発掘された未公開の文化財」を一目見ようという客でごった返していた。

昭和五七年八月二四日から、本店七階の三越美術館で催された「古代ペルシア秘宝展」に展示されていたのは、アカイメネス朝やササン朝などの金・銀器、ガラス器など計四七点。「シルクロードの源流をさぐる」というふれこみにふさわしい“逸品ぞろい”だった。

即売もされており、「有翼牡牛飾の杯」「リュトン（角）杯」など一億円以上が九点で、総額は二一億五〇六〇万円。価格表が添付されたカタログには「三越では海外より蒐集した貴重な文化遺産である西洋古美術の名品を一堂に集めました」という本店長の挨拶も明記されていた。

ところが、八点の売約が内定し、展示終了後には収集家に売り渡されることも決まっていた八月二九日、「朝日新聞」が「秘宝四七点の大半ニセ」という大見出しで、展示品の偽物疑惑を報道する。

記事の中では、西アジア美術研究の第一人者とされる古代オリエント博物館研

「古代ペルシア秘宝展」出品物（写真は同展カタログより）

▲「グリフィン前軀飾のリュトン杯」。価格1億6000万円。数種の本物のリュトン杯から各部をコピーして寄せ集めて制作された。

▲「獅子頭の飾金具」。価格270万円。本物に見せかけるため、裏に泥が塗られている。伝ハマダン出土の「獅子頭金製衣裳飾り」に似せて作られている。

▲「有翼牡牛飾の杯」。価格2億円。「古代ペルシア秘宝展」の目玉商品だった。牡牛の横に描写された壷に、あるはずのない把手がつけられている。

▲「双牛文の棺飾円板」。価格1600万円。牛の表現様式は前10～9世紀のイラン美術にない。3000年埋まっていたのに、銀の腐食がないのも不自然。

▲「グリフィン文飾の楯」。価格9000万円。土中に埋まった鉄は腐食するため、図柄がはっきり残る例はありえない。

▲「有翼獅子と鹿形の把手」。価格1600万円。三越のカタログには「紀元前7～6世紀」とあるが、この時代に作られた把手で2頭の動物を組み合わせた例はない。

究員の田辺勝美氏（現・金沢大学教授）が、開催前に「ほとんど偽物だ。猛省をうながしたい」と主催者に手紙を出していたこと、そのほかの多くの学者も「確実にいけない（偽物をさす業界用語）ものがある」と指摘していたことなどが暴露されていた。

最初に贋作だと指摘した田辺氏は、「牡牛の横に彫られた壷に、あるはずのない把手がついていた『有翼牡牛飾の杯』をはじめ、稚拙な模造品ばかりでした。そこで、展示を中止すべきだと主催者側に伝えたんですが、何の返答もなかったんです」と当時を振り返る。

展覧会を主催した三越の出入り業者、国際美術社の渡辺力社長と三越側は当初、疑惑を否定。それが、九月にイラン国立テヘラン考古博物館が「『有翼牡牛飾の杯』の本物はテヘランで保管されている」と断言するや、三越側は一転「渡辺社長を信じたのが軽率だった」「偽物と知っての詐欺商法ではない」と弁明する。

展示品を主催者に持ちこんだのは、美術商のイラン人のサファイ兄弟だった。四七点のうちの六点は、甲府や横浜の彫金工によってろう鋳型で作られた〝日本製〟。残りは海外から流れこみ、〝粗悪な偽物〟として骨董市場を放浪していた余りものだった。

◀6月17日、三越の独禁法違反事件で記者会見する岡田茂社長（左から二人目）。岡田社長は三越に16億5900万円の損害を与えたとして、この年10月29日に逮捕される。

朝日新聞社

また、このイラン人美術商は、秘宝展前に、作家の松本清張や画家の平山郁夫にも模造品を売りこみ、「偽物だ」と即断されて購入を断られていたのである。

「当時、シルクロードブームに沸いていた国内には、頻繁に偽物が流入していました。日本は、この分野の研究者がまだ少なく、世界の模造品の〝ゴミ捨て場〟とまで言われていたんです」（田辺氏）

「偽物とは知らなかった」という三越の〝鑑定〟眼は、あまりにもおそまつだったと言わざるをえない。結局、この騒動は、イラン人美術商が主催者の儲け主義につけこんだ幼稚な事件にすぎなかったが、国際美術社と三越の岡田茂社長（六八）が懇意だっただけに「三越も偽物と知っていたのでは」という疑いも招き、すでに疑惑の渦中にあったこのトップを失脚させる導火線になったのである。

## 〝究極の公私混同〟で名門・三越を私物化

贋作騒ぎが持ちあがった頃、かつて高収益企業の代名詞のように言われた三越は、創業以来の危機に揺れていた。

納入業者への毛皮・宝石の押しつけ販売や、知人である竹久みちが経営する会社との情実取引などで、岡田茂社長の退陣説がささやかれていたのである。

格式を重んじる三越にあって、〝ベランメエ〟口調の岡田社長は異例のトップだった。銀座店長時代はミニスカート制服や屋上ビアガーデンなどのアイディア商法で、「旧呉服店」のイメージチェンジに成功。昭和四七年には社長に就任した。

〝流通業界の風雲児〟の異名も取ったこの岡田社長に〝醜聞〟がちらつき始めるのが五三年頃である。業者と癒着して乱脈経営を展開。さらに、忠告した幹部を左遷、放逐する恐怖人事を敷いていた。

「岡田元社長の周囲には、茶坊主的な社員や、竹久を取り巻く癒着業者群が集まっていました。彼は、こうした業者を公私混同で手厚く保護する一方、ほかの取引業者は押しつけ販売や協賛金の取り立てでいじめ抜いていました」と語るのは、事件に詳しい作家の大下英治氏である。

偽物騒動を起こした国際美術社の渡辺社長はこうした癒着業者の典型だった。「秘宝展」に出展する美術品の仕入れ資金として、一億円以上を岡田社長に用立ててもらっていたのである。

こうした乱脈経営の結果、三越は五七年二月期の決算で営業利益トップの座を高島屋に譲り、業界三位に転落する。

社内で高まる岡田体制への不満――それを一気に爆発させるきっかけになったのが「古代ペルシア秘宝展」騒動だった。

謝罪を勧めた同じ三井グループの小山五郎三井銀行相談役に「おめえ何しに来た」と言い放ち、「死ぬまで社長を辞めない」と豪語してきた岡田社長は、皮肉なことに一ヵ月後の九月二二日の役員会で、腹心の部下から引導を渡されることになる。

「岡田社長の解任を提案いたします」

小山相談役が水面下で工作を進めた杉田忠義専務による突然の解任決議は、一六対〇の圧倒的多数で可決。飼い犬に噛まれるかっこうになった岡田が発した「なぜだ！」の一言は流行語にもなった。

結局、岡田元社長は特別背任罪などに問われ、一審で懲役三年六ヵ月、二審で同三年の判決を受ける。その際、岡田元社長は「また『なぜだ』と言いたい」と語り最高裁に上告。無実を訴えたが、平成七年に八〇歳で死去。判決が確定しないまま、三越事件は幕を閉じたのである。

▶三越の納入業者「アクセサリー・たけひさ」の竹久みちも、脱税容疑で、昭和五七年一〇月一八日逮捕

朝日新聞社

▲捕鯨全面禁止（7月23日）英ブライトンで開かれていた国際捕鯨委員会で決定。日本は異議を申し立てたが、結局、南極捕鯨は1987年、沿岸捕鯨は1988年3月までとすることで合意。写真は半魚人姿の反対デモ。

PANA通信社

▶女子学生、ドーバー海峡完泳（7月31日）日本人初の快挙を達成したのは早大3年の大貫映子（22）。体の冷却を防ぐため全身に羊の油を塗り、英シェークスピア海岸を出発、9時間32分後に仏グリネ岬に到着した。

AP WWP

▶倉本昌弘、初出場でいきなり日本一（7月25日）滋賀県の名神八日市カントリークラブで行われた日本プロゴルフ選手権最終日、3連続バーディーで謝敏男を突き放し14アンダーで優勝した。倉本は26歳。ホープの鮮烈なデビューだった。

共同通信社

朝日新聞社

▲オオクワガタ1匹5万円（8月）埼玉県大宮市のデパートに登場。オスで体長7センチ。この頃、昆虫ブームは過熱気味。たしかに希少種だが「悪のり商法ではないか」との批判も強かった。

AP WWP

▲ロンドンで連続爆弾テロ（7月20日）ハイドパーク近くなど2ヵ所で炸裂、8人死亡、51人が負傷。北アイルランドの独立をめざすＩＲＡが犯行声明。写真は血染めの芝に倒れた人馬。

▶九州西北部中心に集中豪雨（7月）死者・行方不明者345人。特に長崎市では7月23日、観測史上最高の1時間448ミリを記録した。写真は中島川の氾濫で半壊した重要文化財の眼鏡橋。

毎日新聞社

## 昭和57年7月

1（木）●トヨタ自工と自販が合併しトヨタ自動車発足。
●アニメ原画五万枚盗難で高校生ら三五人摘発。
2（金）●動燃、敦賀市で高速増殖炉「もんじゅ」公聴会。
3（土）●前年の自殺は六五歳以上が最多と警察庁発表。
4（日）●米大統領、軍事優先の国家宇宙政策を発表。
5（月）●富士通、スーパーコンピュータ二機種を発表。
6（火）●二三区は地下揚水規制で地盤隆起と都発表。
7（水）●最高裁、堀木訴訟（昭和45年）で公的年金と児童扶養手当との併給禁止は合憲と判定。
8（木）●東京・荏原税務署で初の女性署長が誕生。
9（金）●閣議、次年度予算概算要求枠を五㌫削減と決定（初のマイナス・シーリング）。
●キヤノン、全自動カメラ「スナッピイ50」発売。
10（土）●福岡市、水不足で夜間八時間断水を開始。
11（日）●香港－マカオ間で水中翼船衝突。八二人死傷。
12（月）●原子力船「むつ」、佐世保で制御棒駆動試験。
13（火）●最高裁、田子の浦ヘドロ公害訴訟で、住民勝訴の二審判決を破棄し差し戻し。
●国鉄、翌春の新規採用中止を各管理局に通達。
14（水）●世界初の光信号の直接増幅に成功と電電公社。
15（木）●直木賞に村松友視「時代屋の女房」ほか決定。
16（金）●横浜地裁、校内プール事故で全身麻痺の中学生と両親に一億四一六〇万円の賠償命じる。
●サリドマイド障害の女性が初めて運転免許。
17（土）●レニングラードで北欧市民が初の反核行進。
18（日）●「教師殴りたい」中・高生は三割と総理府調査。
19（月）●高知県窪川町議会、原発建設の是非を問う全国初の町民投票条例を可決。
20（火）●「人民日報」など、文部省による教科書検定・書き換えを批判（26日、中国政府、訂正を要望）。
21（水）●肺癌死亡率が三五年の二・二倍と厚生省発表。
22（木）●埼玉県でサラ金苦の主婦七人が一一六件七〇〇〇万円の寸借詐欺で逮捕。
23（金）●国際捕鯨委、商業捕鯨の三年後全面禁止採択。
●九州西北部を中心に集中豪雨。
24（土）●富山県利賀村で、第一回世界演劇祭開催。
25（日）●米が日本のＩＣ六社をカルテルで調査と判明。
26（月）●久慈市の小・中学での「にんげんをかえせ」上映会が校長会の反対で相次ぎ中止となる。
27（火）●対中輸出が前年比三七㌫減とジェトロ発表。
28（水）●林野庁、国有林開放し森林浴広める構想発表。
29（木）●緑の地球防衛基金設立準備会発足。
30（金）●第二次臨調、「増税なき財政再建」を建議。
31（土）●早大生・大貫映子、ドーバー海峡を泳いで横断。



## 証言・あの日この日
## 赤川次郎（34）

10月29日（金）〈次々と雑誌が創刊される。雑誌には、たいていインタビューのページがあって、それも、五本も六本も、インタビュー記事ばかり並ぶ雑誌まであるくらいだ。そうなると、私の如く、あまり面白い話のできそうもない人間にも声がかかる〉（赤川次郎「日記から」）

昭和56年、薬師丸ひろ子主演の映画「セーラー服と機関銃」が大ヒット。原作者・赤川次郎も一躍流行作家となる。一方この頃、新雑誌の創刊が相次ぐ。それには高度経済成長以後の読者の意識の変化が影響していた。つまり大衆は、文字中心の読む雑誌より映像中心の見る雑誌を好むようになりつつあった。その結果、「ＦＯＣＵＳ」「ダカーポ」「ＦＲＥＥ」「with」など、写真やインタビュー、コラム中心のビジュアル系雑誌が氾濫する。当然、廃刊になる雑誌も多かった。（山崎行太郎）

ノーボスチ通信社

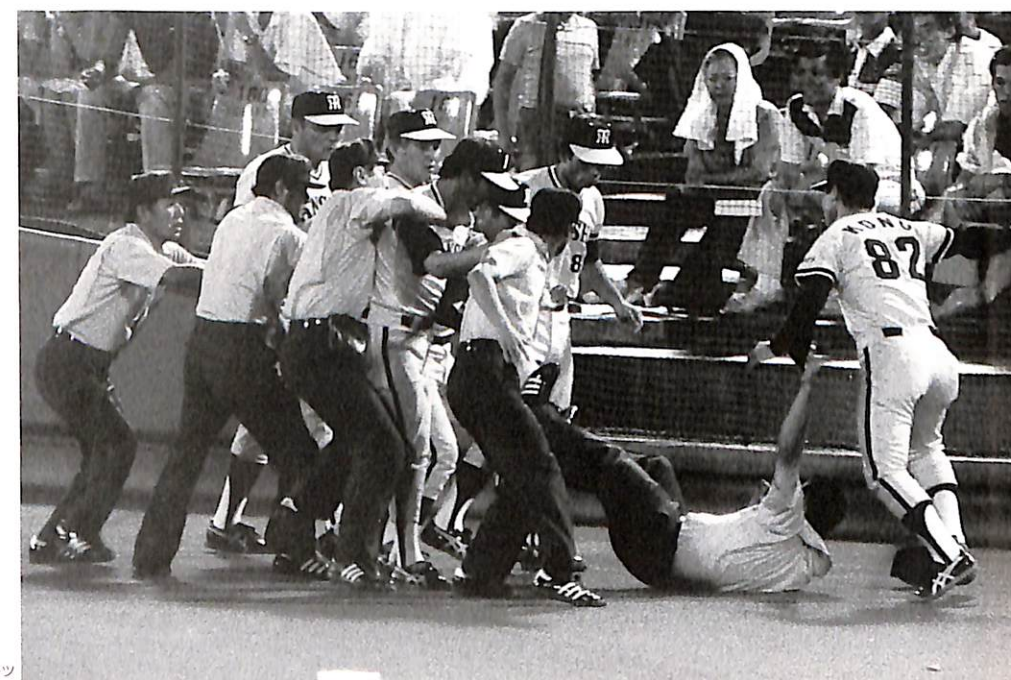
▲ソ連に二人目の女性宇宙飛行士（8月19日）「ソユーズＴ7号」の乗組員3人の一人となったサビツカヤ（左・34）で、テレシコワ以来19年ぶり。長期間の無重力状態に女性の身体がどう反応するかをテストした。

共同通信社

▲自衛官刺殺事件の滝田逮捕（8月8日）滝田修こと竹本信弘（42）は過激派の教祖的存在で、実行犯の元日大生に事件を指示した疑いで手配中だった。平成元年、懲役5年の判決を受けた。

▶共産党委員長に不破哲三（7月31日）12年間続いた体制を改め、議長に宮本顕治（左から二人目）、書記局長に金子満広（左）が就任。野坂参三（右）は引退した。不破（中央）は52歳。理論派として知られた。

読売新聞社

朝日新聞社

▶阪神コーチ、永久追放（8月31日）横浜球場での対大洋戦で7回、阪神・藤田平の小飛球を審判が「ファウル」と判定したことから紛糾、島野・柴田両コーチが審判二人に殴る蹴るの暴行を働いたため。12月、球団は二人を球団職員に採用。

◀堺で化学工場爆発（8月21日）ダイセル化工堺工場の合成樹脂プラントから轟音。一瞬のうちに工場が崩壊、爆風が周囲の民家を襲った。死者6人、負傷者204人。前日にも爆発事故があり、事後処置の手落ちだった。

日刊スポーツ

## 昭和57年8月

1（日）●中国、教科書問題で小川文相招待を取り消す。
2（月）●台風一〇号が中部地方横断。九五人が死亡・行方不明、東海道本線富士川橋梁が一部流失。
3（火）●経済同友会、日本の技術水準は航空機・宇宙開発・海洋開発などで欧米に劣ると調査報告。
4（水）●福岡県東署、独居老人から年金二五万円を脅し取っていた小・中学生二三人を補導。
5（木）●原水禁世界大会、開催。空前の三万人参加。
6（金）●韓国で、教科書問題からタクシーの日本人乗車拒否や日本製品の不買運動決議。
7（土）●世界学生柔道選手権で日本は八年ぶりに優勝。
8（日）●滝田修、自衛官刺殺事件で逮捕。潜行一〇年。
9（月）●ニュージーランドでの南太平洋首脳会議、同海域への放射性廃棄物投棄計画に反対決議。
●下着の蛍光増白剤不使用運動広がると新聞に。
10（火）●中央薬事審、医療用薬品一五点を無効と答申。
11（水）●日本企業の重役報酬は世界最高と米調査機関。
12（木）●前年度赤字は空前の一四七二億円と林野庁。
13（金）●冷夏でビール消費が前年比一〇㌫減少と判明。
14（土）●ヒュー・ハドソン監督「炎のランナー」封切。
15（日）●鈴木首相、公私の別明言せず靖国神社を参拝。
16（月）●アラファトＰＬＯ議長、ベイルート撤退表明。
17（火）●老人保健法公布。七〇歳以上医療無料制廃止。
18（水）●スプレー式塗料に鉛など重金属含有と判明。
19（木）●神奈川県、都道府県初の公文書公開条例案を発表（翌年4月1日施行）。
20（金）●夏の甲子園で徳島県池田高校が初優勝。
21（土）●ダイセル化学工業堺工場で合成樹脂プラント爆発。六人死亡、二〇四人負傷。
●キャンピングカー利用の旅行が増加と新聞に。
22（日）●一級河川水質調査で最悪は東京の綾瀬川。
23（月）●事務の自動化で翌春採用の大卒男子二㌫減。
24（火）●公選法改正公布施行。参院全国区に拘束名簿式比例代表制を導入。
25（水）●高校ＰＴＡ連合会、バイク全面禁止を決議。
26（木）●丸谷才一『裏声で歌へ君が代』刊行。
27（金）●写真家・浜谷浩、教科書問題に抗議し芸術選奨文部大臣賞を返上。
28（土）●汎用電算機は大企業の九割に普及と労働省。
29（日）●「朝日新聞」、三越で開催中の「古代ペルシア秘宝展」の大半が模造品と報道。
30（月）●郵政省、キャプテンシステムを二年後めどに実用化と発表。
31（火）●岩手県教委が鈴木首相歓迎に児童動員と発覚。

▲ミニ野菜好評（9月）「軽・薄・短・小」の延長で百貨店の野菜売り場には親指大のニンジンなどがずらり。核家族化の影響と言われた。

朝日新聞社

▶サッチャー英首相来日（9月17日）22日まで滞日、鈴木首相と対ソ制裁問題、日英貿易不均衡などについて話し合った。写真は20日、ゴルファー・青木（右端）・倉本（その隣）と談笑するサッチャー。

共同通信社

▶金原亭馬生逝く（9月13日）古典一筋の、落語界の重鎮だった。54歳。写真は東京・西日暮里の自宅で。左が弟の志ん朝、右が娘で女優の池波志乃と中尾彬夫妻。

石川文洋

◀富士五湖で異常増水（9月12日）台風による大雨の影響。河口湖では最大限放水もおよばず湖畔のホテル、民家が水浸しとなった。水位は10月下旬平常に戻った。

朝日新聞社

▶スペインで旅客機炎上（9月13日）乗員・乗客393人を乗せスペインのマラガ空港を発とうとしたニューヨーク行きDC-10が離陸に失敗、道路に突っこんだ。死者77人、負傷者113人。

AP/WWP

◀横綱北の湖、史上最多の873勝達成（9月21日）大相撲秋場所10日目、若の富士を寄り切り、大鵬を抜いて単独トップとなった。守りの大鵬、攻めの北の湖と言われた。29歳。

時事通信社

## 昭和57年9月

1（水）●経済苦境のメキシコ、全銀行の国有化を発表。
●長崎県愛野町でゲートボール判定めぐり殺人。
2（木）●リニアモーターカー実験で世界初の有人走行。
3（金）●米飯給食が九四・五%に普及と文部省発表。
4（土）●沖縄県議会、沖縄戦での日本軍による住民虐殺の教科書への記述復活要求を採択。
●大分市で一〇億円分の偽造五千円札発見（13日までに印刷会社社長ら四人逮捕）。
●国際陸連、アマ選手の報酬を限定つきで承認。
5（日）●日航機「逆噴射」事故の機長は妄想型精神分裂病と鑑定報告書提出。
6（月）●原子力船「むつ」、青森県大湊港に入港。
7（火）●長崎大グループ、海洋温度差発電実験に成功。
8（水）●原環境庁長官、国立公園内に原発不可と表明。
9（木）●アラブ首脳会議、フェス憲章を採択。パレスチナ国家樹立とイスラエル生存権の承認。
10（金）●鈴木健二著『気くばりのすすめ』刊行。
11（土）●呉市のドックでタンカー火災。一四人死傷。
12（日）●台風一八号、東日本縦断。死亡・不明三四人。
●中国共産党総書記に胡耀邦選出。
13（月）●妊娠・出産で退職した女性は二三%と労働省。
14（火）●モナコのグレース王妃が自動車事故で死亡。
15（水）●札幌市豊平川の河原で秋サケの豊漁を祈るアイヌの儀式が一〇〇年ぶりに復活。
16（木）●レバノンのパレスチナ難民キャンプでイスラエル派民兵が住民一八〇〇人を無差別虐殺。
17（金）●サッチャー英首相、来日。
18（土）●都の賃貸住宅、三五%値上げの答申案決定。
19（日）●八月二九日に乳癌で死去したイングリッド・バーグマンにエミー賞。
20（月）●穂積隆信著『積木くずし』刊行。
21（火）●北の湖、大鵬抜き通算一位の八七三勝を達成。
22（水）●三越取締役会、岡田茂社長を解任（10月29日、特別背任容疑で岡田逮捕）。
23（木）●「川崎病の子供をもつ親の会」、発会。
24（金）●閣議、国鉄改革など行政改革大綱を決定。
25（土）●北海道斜里町で、「日本におけるナショナルトラストを考える」シンポジウム開催。
26（日）●鈴木首相、訪中。趙首相に教科書是正を言明。
27（月）●東京外為で円安進行、五年ぶり二六八円割る。
28（火）●法制審議会、養子制度の全面見直しを決定。
29（水）●イラン・ジャパン石化事業継続で両国合意。
30（木）●信州大経済学部、一科目でも上位一〇%以内なら零点があっても合格と入試改革を決定。



▲西武が初の日本一（10月30日）ナゴヤ球場でのプロ野球日本シリーズ第6戦で、強力打線が中日を粉砕、優勝した。最優秀選手は東尾修投手。広岡監督の身体が宙に舞った。

時事通信社

▲初の女流本因坊が誕生（10月20日）女流囲碁の新タイトルが、本田幸子六段（51）と小林礼子六段（42）の間で争われ、1勝1敗の後を受けて、第3局を本田六段（写真）が半目勝ちで制した。

共同通信社

▶エリザベス女王の夫君・エジンバラ公来日（10月31日）「世界野生生物基金（WWF）」総裁として野生生物の保護を訴え、募金活動を行った。写真は上野動物園を訪問したエジンバラ公。

共同通信社

▼小包爆弾で二人重傷（10月29日）銀座の郵政省東京南部小包集中局で、配送作業中に郵袋のひとつが爆発。爆弾は消火器に塩素酸塩を詰めた時限式。この日は連続企業爆破事件控訴審判決日だった。

共同通信社

▼レバノンでパレスチナ難民1800人虐殺（9月16日）首都ベイルート近郊の難民キャンプを、親イスラエルの民兵が襲撃した。次期大統領ジェマイエル暗殺の報復とされた。

ロイター　サンテレフォト

▲北海道・北炭夕張鉱、閉山へ（10月9日）93人の犠牲者を出した前年10月のガス突出事故で再建不能に。14日には従業員約2000人全員に解雇通告。組合はストで抵抗したが、一時金5億円などで妥結した。

共同通信社

## 昭和57年10月

1（金）●電電公社、電話番号変更サービスを開始。
●ソニーなど三社、CDプレーヤーを発売。
2（土）●二年間でベビーホテルの二割が廃業と厚生省。
3（日）●生活保護をめぐる藤木訴訟の藤木イキ、第二次訴訟なかばで病死。
4（月）●西独にコール連立政権発足。
5（火）●女子大生の就職希望率は九二・三%と判明。
6（水）●中野区で大学生が騒音から家主ら五人を殺害。
7（木）●全国農協大会、農産物輸入自由化阻止を決議。
8（金）●ポーランドで「連帯」が非合法化される。
9（土）●風間杜夫・松坂慶子主演「蒲田行進曲」封切。
10（日）●札幌で車を盗んだ小・中学生四人がパトカーに追跡され橋の欄干に衝突、三人死亡。
11（月）●余暇の六割はごろ寝・テレビと総理府調査。
12（火）●鈴木首相、「挙党体制確立のため」退陣を表明。
13（水）●警視庁、ポーカーゲーム機製造業者を常習賭博容疑で逮捕。
14（木）●大阪市に「ザ・シンフォニーホール」開館。
●ソウルで統一協会の集団結婚式。五八三七組。
15（金）●札幌市青少年科学館、自然と同じ雪を降らせる装置を世界で初めて開発と発表。
16（土）●自民党総裁選告示。中曽根康弘・中川一郎・河本敏夫・安倍晋太郎が立候補。
17（日）●神奈川県丹沢でスズメバチが六七人襲う。
18（月）●東京地検、三越疑惑で竹久みちを逮捕。
19（火）●法務省、ベトナム・カンボジアの一五家族二六人を初めて難民と認定。
20（水）●横浜地裁、厚木基地夜間飛行差し止めを却下。
21（木）●筑波で理研の遺伝子操作施設着工を住民阻止（27日、強行着工）。
22（金）●女子高生の七割はカロリー不足と学会報告。
23（土）●データ通信回線の利用が自由化される。
24（日）●一五歳の谷田邦彦、ストックホルムの第六回オセロ世界選手権で史上最年少で優勝。
25（月）●鎌倉簡裁、犬の鳴き声を騒音と認め賠償命令。
26（火）●インドネシア残留元日本兵、四〇年ぶり帰国。
27（水）●東京・夢の島で、一万五〇〇〇…、日本一のゴミ焼却発電が本格稼動。
28（木）●日本電通、かなと点字を同時に打てるタイプライターを開発。
●米は三年連続不作と農水省予測。
29（金）●スペインに社会労働党政権。四…
30（土）●西武、日本シリーズで中日破り初の日本一
31（日）●「適」マークの旅館は全国で六六%と消防庁

毎日新聞社

▲中曽根康弘、念願はたす(11月24日)自民党総裁予備選で田中派の支援を受け圧勝。写真は、選挙後「盟友」に手を合わす中曽根。27日組閣、「田中曽根内閣」の声も。

UPI・サン／共同

▲ワレサ議長釈放(11月12日)前年ポーランド全土に戒厳令が敷かれて拘禁されて以来、11ヵ月ぶり。10月の議会で「連帯」はすでに非合法化されていた。写真は、政府施設を出てグダニスクの自宅に向かうワレサ。

▶上越新幹線開業(11月15日)大宮—新潟間304キロ。散水消雪装置など雪害対策をほどこし「新たな日本海時代」が期待された。写真は大宮市。左が上越、右が東北新幹線。

共同通信社

▼フェイフェイ顔見せ(11月9日)上野動物園のパンダ、ホアンホアン(左奥)に日中国交回復10周年を記念して北京からやって来た花婿。推定年齢15歳、体重122キロ。

上野動物園提供

林明孝

▶宇宙「商用化」(11月11日)米スペースシャトル「コロンビア」が打ち上げられ、翌日、米国とカナダの会社から依頼された通信衛星を次々と発射した。宇宙も「確実に、安く」の時代となった。写真は回転しながら荷物室から打ち出される衛星。

◀「ブルーインパルス」墜落(11月14日)静岡県浜松市の自衛隊基地で、曲技飛行中の1機が近くの市街地に落ち、爆発炎上。操縦士は死亡、住民12人が重軽傷を負った。

NASA／WWP

## 昭和57年11月

1(月)●本田技研工業、米オハイオ州四輪車工場の操業開始(初の米国内での日本車生産)。
●大阪府警のゲーム機賭博汚職で巡査長逮捕。
2(火)●佐倉市に新交通システムの「山万ユーカリが丘線」開業。
3(水)●国鉄、上野—日光に初の障害者専用列車運行。
4(木)●関電美浜原発で九月に続き無届け工事発覚。
5(金)●ブラジル・パラグアイ国境に巨大ダム。発電所完成すれば出力一二六〇万kWで世界最大。
6(土)●日本野鳥の会、岐阜県で霞網調査を開始。
7(日)●初の全日本小学校バンドフェスティバル開催。
8(月)●米・ミシシッピ州の刑務所で火災、受刑者二七人焼死。
9(火)●堀江謙一、ヨットで世界初の地球縦回り航海。
10(水)●ソ連のブレジネフ書記長、死去。
11(木)●東京国際防災展開幕。核シェルターも展示。
12(金)●ゲーム機汚職時の大阪府警本部長だった、警察大学校長が「責任痛感」として自殺。
13(土)●那覇の教護施設で職員が無断外出の生徒撲殺。
14(日)●浜松市の航空ショーで航空自衛隊曲技機墜落。
15(月)●上越新幹線の大宮—新潟間、開業。
16(火)●中国の黄華外相、ブレジネフ国葬後にグロムイコ外相と会談、国交正常化へ対話で一致。
17(水)●中央大、百周年で長谷川如是閑賞制定と決定。
18(木)●マラッカ海峡の海賊に日本商船丸腰と新聞に。
19(金)●ニューデリーで第九回アジア競技大会開幕。
●戦争シミュレーションゲームが人気と新聞に。
20(土)●日本ケミファが新薬申請データ捏造と判明。
21(日)●梅沢富美男初のレコード「夢芝居」発売。
●高校の修学旅行先に韓国・台湾増加と新聞に。
22(月)●国鉄、名寄本線など三二路線を赤字ローカル線廃止第二次分として申請。
●学術審議会、遺伝子組み換え実験解禁と決定。
23(火)●東京で初のワープロ技能コンテスト開催。
24(水)●米司法長官、「日本の組織暴力団の米本土進出が急増、麻薬売買を懸念」と表明。
25(木)●南極観測船「ふじ」、最後の航海に出発。
26(金)●東北自動車道で大型トラック一〇台玉突き。
27(土)●この年前半に川崎病が大流行、東日本中心に一万二千余人と原因究明委員会で報告。
28(日)●岐阜県穂積町長に松野友が女性で初の一〇選。
29(月)●一九団体が中国残留孤児問題全国協議会結成。
30(火)●桜井市の山田寺跡で日本最古の木造建築発掘。
●日本捕鯨協会など、「捕鯨を守る会」を結成。



THE EXTRA-TERRESTRIAL

共同通信社

▲「E.T.」に行列(12月4日)少年と異星人の友情を、SFXを駆使して描いたスピルバーグ監督の映画。翌年には配収93億円を超す日本記録を達成した。写真は18日、東京・丸の内ピカデリー前。

▶早実のエース・荒木大輔、ヤクルト入り(12月23日)大学進学を撤回、ドラフト1位指名に賭けた。契約金6500万円(推定)。目標は巨人の西本投手だった。写真左・武上監督、右・松園オーナー。

日刊スポーツ

毎日新聞社

◀ゲーム機汚職(12月)大阪府警は、賭博ゲームセンターに摘発情報を流して謝礼を得ていた現職・OB警官ら5人を11月から逮捕。処分者は120人にのぼった。写真は21日、摘発された賭博ゲーム機。

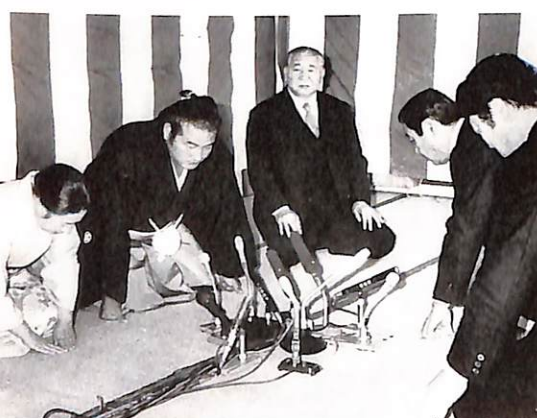
▼若島津、大関昇進(12月1日)九州場所で12勝3敗、前3場所10勝以上と安定していたのが評価された。二子山部屋、25歳。写真は福岡市の宿舎で朗報を受ける若島津。左右は二子山親方夫妻。

朝日新聞社

共同通信社

▶初の永久人工心臓手術(12月2日)米・ユタ大学医療センターで61歳の患者の回復不能の心臓を摘出、ポリウレタン製の心臓を埋めこんだ。患者は「人類のために」と同意、112日間生存した。

◀日本ケミファ、データ捏造(11月20日)新薬試験データの改ざん・隠蔽が発覚。12月7日、消炎鎮痛剤「ノルベダン」などの承認取り消し、80日間の業務停止が言い渡された。写真は6日、厚生省で謝罪する山口社長。

ユニフォト・プレス

## 昭和57年12月

1(水)●富士フイルム、音声で操作教えるカメラ発売。
2(木)●ユタ大、初の永久人工心臓移植に成功と発表。
3(金)●国連総会、翌年から「障害者の一〇年」と宣言。
●国鉄、指定席での禁煙席設置を検討と表明。
4(土)●S・スピルバーグ監督「E.T.」封切。
5(日)●新潟県小出町長選で越山会推薦の現職敗れる。
6(月)●東京地裁、テレビゲーム著作権訴訟でコンピュータ・プログラムの著作権を認める。
7(火)●『独禁白書』発表。違反審査が前年比七七%増。
8(水)●癌研グループ、成人T細胞白血病ウイルスの遺伝子構造を解明し分子生物学会で発表。
9(木)●家計は二軒に一軒が赤字と第百生命発表。
10(金)●国連海洋法条約に一一七ヵ国署名。日米英など二二ヵ国は見送り。
11(土)●兼松江商、中国の天津市などとの合弁で香港に商社(天松有限公司)設立と発表。
12(日)●戸塚ヨットスクールで、訓練中の中学生が死亡(15日、愛知県警が同校を捜索)。
13(月)●北大遠征隊、厳冬期のダウラギリI峰に登頂。
●大道芸の坂野比呂志、芸術祭賞大賞を受賞。
14(火)●全日本民間労働組合協議会(全民労協)、結成。
15(水)●三菱総研調査でヒット商品一位は紙おむつ。
16(木)●ユニセフ、『世界児童白書』発表。世界的経済後退で毎日四万人の子どもが餓死・病死。
17(金)●東北本線宇都宮—岡本間で走行中ドア全開。
18(土)●秋田県、秋田空港への自衛隊基地設置を容認。
19(日)●公害苦情の三割はカラオケ等の騒音と総理府。
20(月)●釧路地裁、「梅田事件」(昭和25年)の再審決定。
21(火)●米上院、対日防衛増強要求を全会一致で可決。
22(水)●国鉄、新幹線への定期券導入を決定し申請。
23(木)●電電公社、初のカード式公衆電話を設置。
24(金)●経企庁、前年度一人当たりGNPは二一五万円と発表。OECD二四ヵ国中一五位。
25(土)●タバコなど七九品目の関税引き下げ決定。
26(日)●五五年度末で公団住宅の三万四二七九戸が未入居と行政管理庁発表。
27(月)●加藤保男、厳冬期のエベレストに世界で初めて登頂(下山途中に遭難)。
●東京都老人クラブ連合会、福祉切り捨て予算反対の総決起大会開催。
28(火)●神田道夫、小型熱気球で北アルプスを越える
29(水)●訪中野村狂言団、北京で初公演。
30(木)●西条太陽光試験発電所、家庭に試験送電開始
31(金)●離婚が過去最高一六万五〇〇〇組と厚生省

# 世相が楽（がく）多（た）市（いち）

◀4月1日、大蔵省は新硬貨、500円硬貨1億枚を発行。写真は東京・高島屋の「500円均一掘り出しセール」。

共同通信社

流行語

## 心をなごませる森の恵み

「森林浴」。この年、秋山智英林野庁長官が、森が作る新鮮な空気を体いっぱいにあびようという「森林浴」を提唱、これが自然愛好と健康ブームに乗って広がった。このブームにともなって、フィトンチッドという樹木の発する芳香性物質も、心をなごませる森の恵みとして脚光をあびた。

「カ・イ・カ・ン」。この年の正月映画「セーラー服と機関銃」で、主演の薬師丸ひろ子が機関銃を乱射しながらつぶやく言葉。このTVコマーシャルが大流行し、映画も観客動員三五〇万人のヒットとなった。

「ほとんどビョーキ」。テレビ朝日の深夜番組「トゥナイト」でレポーターの山本晋也監督がはやらせた文句。刺激的で、異常な性風俗を追い求める人々を「びっくりした、あきれた」という意味をこめて、こう表現したことから流行した。

「ギャンサラ族」。ギャンブルに入れあげて、サラ金のお世話になっているサラリーマンのこと。都庁で、この年一月から一〇月の間に六〇人もの処分者が出て話題になった。

「熟女」。女盛りの女性たち。アイドルやロリコン・ブームへの反動として"熟女ブーム"が起こり、大谷直子、五月みどり、高田美和らの熟女ヌードも登場した。

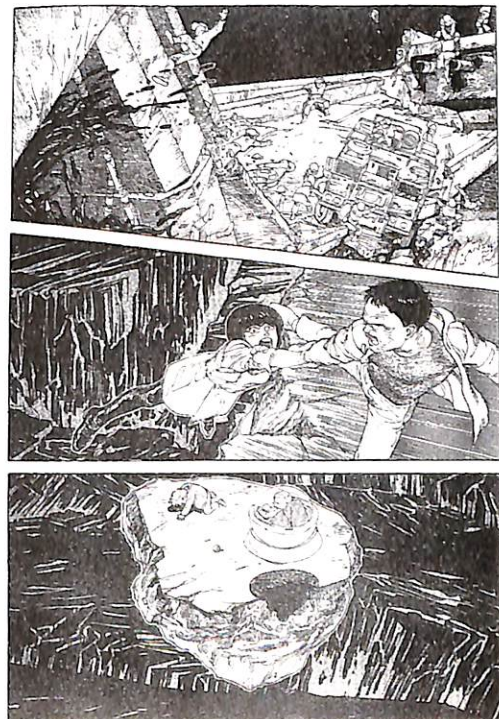
食

## 女子大生が優勝 日本酒の利き酒大会

東京・内幸町で、日本酒の国際利き酒選手権大会が行われ、アメリカ、台湾、日本による優勝決定戦の結果、日本の女子大生・久富暢子さん（二二）が優勝した。二、三位はアメリカ勢だった。大会には二〇ヵ国から一〇〇人（うち日本人が二〇人）が参加、全国から選ばれた日本酒一八銘柄を味わい、数多くあてる方式で行われた。その結果五人が一〇点で同率首位。優勝決定戦で八銘柄をあてた久富さんが優勝した。久富さんは「飲むたびに味がまじってむずかしくなったけど、日本人の面目を保ててよかった」とホッとした表情。（「熊本日日新聞」九月二二日）

社会

## 廃止された全国唯一の税金

〔長野発〕全国の自治体でただひとつ、住民が飼っている犬に税金をかけていた長野県四賀村が、四月から"犬税"を廃止することを決めた。税金は四ヵ月以上の成犬一匹につき年間三〇〇円。村には現在、約五〇〇匹の犬が飼われており、昭和五六年度は一五万円の"犬税"の収入があった。廃止したのは同じように犬税を取っていた京都府の舞鶴市が五五年度で廃止し、全国でただひとつになったこと、年間三〇〇円では台帳作りなど事務費の方が高くつくなどの理由から。同村は昭和三〇年、周辺の四ヵ村が合併して誕生したが、当時から三〇〇円の犬税を徴収していたという。（「秋田さきがけ」三月三日）

▲「ヤングマガジン」12月20日号から連載開始の大友克洋作「AKIRA」。超能力少年の闘いと救済を描く。

©MASH★ROOM 講談社

CM100年　タレント・岡本太郎（画家）

テレビCF「芸術はバクハツだ！——マクセルビデオ」（日立マクセル）

珍商売

## キャッチボール屋 目下、盛業中

「キャッチボール屋」という奇妙な商売をしている人がいる。キャッチボールをしたくても相手がいないという人の相手をつとめるのが仕事で、電話一本でピッカピカの道具を持って参上する。料金は普通のキャッチボールで一時間二〇〇〇円、遠投やピッチングなど本格的なものになると三〇〇〇円。これに守備練習のノックなどが加わると四〇〇〇円になる。

この珍商売を考えたのは、商社につとめていた三八歳のサラリーマン。スタートする時、周囲の友人たちは大いにあやぶんで引き止めたが、今や大盛業だという。（「毎日新聞」四月一一日）



# はやり歌

えとせとらレコード博物館提供

▲岡村孝子と加藤晴子の「あみん」デビュー曲。この年の売り上げ1位（102万枚）を記録。

### 待つわ

作詞　岡村孝子
作曲　岡村孝子
編曲　萩田光雄

かわいいふりしてあの子
わりとやるもんだねと
言われ続けたあのころ
生きるのがつらかった
行ったり来たりすれ違い
あなたと私の恋
いつかどこかで
結ばれるってことは
永遠（とわ）の夢
青く広いこの空
誰のものでもないわ
風にひとひらの雲
流して流されて
＊私待つわ　いつまでも待つわ
たとえあなたが
ふり向いてくれなくても
待つわ　いつまでも待つわ
他の誰かに　あなたがふられる日まで

### 夢芝居

作詞　小椋佳
作曲　小椋佳

恋のからくり　夢芝居
台詞（せりふ）ひとつ　忘れもしない
誰のすじがき　花舞台
行（ゆ）く先の　影は見えない
男と女　あやつりつられ
細い絆（きずな）の　糸引き　ひかれ
けいこ不足を　幕は待たない
恋はいつでも　初舞台
恋は怪（あや）しい　夢芝居
たぎる思い　おさえられない
化粧衣裳の　花舞台
かい間見る　素顔可愛い
男と女　あやつりつられ
心の鏡　のぞき　のぞかれ
こなしきれない　涙と笑い
恋はいつでも　初舞台

キングレコード提供

▲「下町の玉三郎」こと梅沢富美男が歌ってヒット。この歌で「紅白歌合戦」にも出場した。



▲東京・上野にアメ横センタービルが建設され、年末から営業開始。

共同通信社

三面記事

## 動き出した学生の企画集団

学生によるイベント会社が奮闘している。それも大学祭などのイベントではなく、JAL、サントリーなど一流企業をスポンサーにしたもので、協賛金も常に一〇〇〇万円以上。そのひとつ「パーキー・リーグ」は青山学院、慶応、上智などの企画サークルが連合して結成した企画集団。目下、資生堂をスポンサーにしたイベントを後楽園ホールでやるために大忙し。二〇〇〇人の入場者を見こむビッグ・イベントだ。成蹊、立教、明治学院などの学生による「アーバン・リーグ」は国鉄（現・JR）の主催する「新宿まつり」の一部を全部まかされている。そのほか神戸の「マリン・リーグ」、名古屋の「スカイ・リーグ」など、活躍しているイベント集団は多い。

彼らに共通する理念は何か？学生運動に代わる"ハレ"を持ちたいということ。それも国家や企業と敵対するのではなく、それらを巻きこんだ"ハレ"を作ること。これを「国家は劇場だ。それを舞台に面白いものを」と表現する学生もいる。（「平凡パンチ」一〇月一一日号）

レジャー

## "戒め派"と"いい気分派" おみくじの当世事情

神社におみくじはつきもの。吉か凶かで女の子は一喜一憂する。ところが吉と凶、神社によって大きく違う。有名神社の中で一番凶の多いのが、鎌倉の鶴岡八幡宮。「おみくじは教えと戒めのためのもの」という考えから五〇種のうち一二種、ざっと四種に一種が大凶と凶である。これに対して、凶、大凶をなくしてしまったのが、大阪の住吉大社や四国の金刀比羅宮。奈良の春日大社は凶を残しているものの、一二五種のおみくじのうち一〇種が大吉と"いい気分"を売りものにしている。（「週刊朝日」一〇月二九日号）

◀かつて手塚治虫や赤塚不二夫、藤子不二雄らが下宿していたことで知られる東京都豊島区南長崎の「トキワ荘」が老朽化のため、一一月二九日から取り壊された。木造モルタル二階建ての同アパートから、『ジャングル大帝』など戦後の名作漫画が生まれた。

時事通信社

セックス

## 一〇〇人にインタビュー 妻へのアプローチは？

「妻と関係する時、どんな風にアプローチするか？」サラリーマン一〇〇人にインタビューした。その結果、①妻の蒲団に黙って入って行く。②「あすは休みだ」と言う。③こっちへ来いと命令する。そのほか、ガバッと奇襲攻撃。妻の方から声がかかるまでダメなど……。（「日刊スポーツ」一月二五日）

この年の初もの

## 最高は五〇〇万円 自転車保険スタート

●ホールインワン保険　一月一一日発売。二〇日で契約四〇〇〇件の人気。二月三日、受け取り第一号も登場。

●即席中華惣菜　永谷園が「麻婆春雨」発売。一八〇円。

●外国大学の日本分校　米・テンプル大学の日本校が開校。

●信号待ち時間表示装置　国鉄（現・JR）大阪駅前に設置。

●海の救急隊　宮城県に「洋上救急医療支援協議会」が発足。

▶一一月、東京芝浦電気（現・東芝）が[illegible]タブルワープロ発売[illegible]

世界の動き

# それはソ連崩壊の第一歩だった！「ノーメンクラトゥーラ」の腐敗の中で ブレジネフ書記長の〝失意と死〟

一九八二年一一月一〇日、ソ連のブレジネフ書記長が、心不全のため七五歳でこの世を去った。スターリン時代への逆行を思わせる〝官僚主導〟のブレジネフ長期政権は、安定を志向するあまり、政治の腐敗と経済の停滞をもたらしていた。そしてその死は、後の「ペレストロイカ」から「ソ連崩壊」へと突き進む大激動の序曲となったのである。

▲11月10日に亡くなったブレジネフの葬儀は15日に行われた。写真はモスクワの労働組合会館、円柱の間で、ブレジネフの遺体に最後の別れを告げるソ連の首脳たち。　ノーボスチ通信社（3点とも）

## 革命六五周年の三日後 ブレジネフ死去の悲報

一九八一年の一一月から、ソ連でKGB（国家保安委員会）のアンドロポフ議長による汚職取締りが始まっていた。

翌八二年に入ると、ソ連中枢部に急激な異変が続発する。一月一九日、ブレジネフ書記長（七五）の妹の夫であるセミョン・クジミッチ・ツヴィングKGB第一副議長が病名不明の謎の死をとげた。その六日後の一月二五日には、ブレジネフの片腕とも言うべきスースロフ政治局員が心臓病で死亡。最高権力者の〝盟友〟が、相次いで世を去ったのである。

さらに、スースロフの葬儀があった一月二九日、ブレジネフの娘ガリーナの男友達だった著名なダンサー、ボリス・ツビゴフが外貨の闇取り引きの容疑で逮捕された。

二月一七日には、ブレジネフ一家と親密で、貴重な外貨獲得源を牛耳っていた国立サーカス公団のアメトーリー・コレヴァトフ総裁が逮捕され、その自宅から一〇〇万ドル以上のダイヤと三〇万ドルの外貨が押収されるなど、ブレジネフの権威は大きく揺らいでいった。

「この一連の逮捕劇は、一人の人間がトップに座り続けたため〝制度疲労〟、つまり、国家の統制力が喪失したことに対するアンドロポフの危機意識を意味していました。アンドロポフは書記長周辺の人物から徐々に追い落としにかかり、ブレジネフ本人をも失意のどん底に追いこんだのです」

こう語るのは、国際日本文化研究センター教授の木村汎氏である。

ブレジネフはその後、心身を病んだまま、四月二二日のレーニン生誕一一二周年記念集会やメーデーなどの政務をこなしたが、一一月一〇日朝、自宅の書斎で家族にみとられることもなく、一人孤独な死をとげたのである。

「党および全ソ連人民にレオニード・イリイッチ・ブレジネフ・ソ連共産党中央委員会書記長兼最高会議幹部会議長が、一〇日午前八時すぎ、突然死去したことを深い悲しみをもって発表する」

一九八二年一一月一一日午前一一時の国営タス通信は、フルシチョフの後継者として一九六四年以後一八年間にわたり〝クレムリンの主〟だったブレジネフ書記長の死を伝えた。

その日、モスクワは気温五度、空の雲は厚く、今にも雨が降り出しそうな肌寒い天候だった。

高齢に加え、心臓の疾病を持つブレジネフは晩年、体調を崩すことが多く、引退の噂がささやかれていたが、死亡三日前のロシア革命六五周年記念パレードでは健在ぶりを見せていただけに、その衝撃は大きかった。

一夜明けた一二日、モスクワ全市は喪に服した。ラジオやテレビからは終日荘厳なクラシック音楽が流れ、街頭の掲示板には、黒枠で弔意を示した新聞が貼り出された。

国葬は一五日正午（日本時間午後六時）から曇り空の「赤の広場」で始まった。軍楽隊が吹奏するショパンの「葬送行進曲」が流れる中、棺がレーニン廟前に安置されると、アンドロポフ新書記長（六八）は七〇ヵ国以上の政府代表と数万人のソ連市民を前に追悼演説を行い、「さよなら、レオニード・イリイッチ」と言葉をかけ短い演説をしめくくった。

政治局員の肩にかつがれた棺が、レーニン廟裏の墓地に運ばれ埋葬されたのが一二時四五分、ソ連全土には一斉に弔砲が轟き、サイレンや汽笛も鳴り響く中、国民は五分間の黙禱を捧げ「ブレジネフ時代」に別れを告げたのである。

◀1981年11月7日、ロシア革命64周年式典のパレードを観閲するブレジネフ書記長（右から5番目）。翌1982年の65周年記念式典にも元気な姿を見せたが、その3日後に死去。

▶一一月一五日、レーニン廟裏の墓地に運ばれるブレジネフの遺体。前列左・チーホノフ首相、右・アンドロポフ新書記長。

外から見たNIPPON

# A・M・ナイルが明かした日本の右翼指導者との〝共感〟部分

―佐伯 修

銀座のレストラン「ナイル」と言えば、東京のインド料理店の草分けのひとつである。その創業者、A・M・ナイル(一九〇五〜九〇)は、英国の植民地だったインド・ケララ州の名家に生まれた。

当時、ケララでも高まりつつあった、反カーストの社会改革運動や、反英独立運動に共鳴したナイル少年は、地元の高校でストを指揮するなどして、英国の官憲にマークされた。

父親は、そんな彼を日本へ留学させ、彼は京大で土木工学を学ぶ。留学先の日本で、ナイルは、長年、独立運動を続けているラーシュ・ビハリ・ボースに会い、その「アナーサクタ・カルマ」すなわち、報酬に対する執着を捨てた「無執着の仕事」をする生き方に、強く感化される。同時に、彼は、ボースの支援者でもあった、頭山満、内田良平、大川周明ら「アジア主義」を標榜する右翼指導者たちと結び、彼らの側で、中国大陸などで反英独立活動を展開していった。

孫文をはじめ、近代アジアの独立運動家や革命家の多くが、右のような戦前の日本の右翼たちと同志的な関係を持った。そこには、一方が他方を利用するといった利害関係を超えた、共感や信頼も見られるが、天皇中心の超国家主義とアジアの被抑圧民族解放の間に、衝突はなかったのか?

この年に刊行されたナイルの自伝『知られざるインド独立闘争』は、そんな疑問に対するひとつの解答を与えてくれる。ナイルは、李海天という朝鮮人について語る。

李は、当時、「日本に対して如才なくふるまって」おり、関東軍の対ソ謀略にも協力するふりをしていた。だが、その本心は、日本からの朝鮮の武力解放であり、頭山も内田も、そうと知りつつ、李を同志として遇していた、とナイルは言うのだ。

「内田良平、頭山満、李海天、それにわたしの四人にとっての公分母は、つまりナショナリズムだったのである。だが四人の間には、お互いに絶対、干渉はしないという不文律があった。それぞれ、自分なりに最適と判断した道を歩み、どんな活動をしているのかも、打ち明けたくないのなら言わないでも構わないし、だれもそんなことは聞かない。だが、四人の間の友情は絶対に変わらない」(河合伸訳)

つまり、ナイルから見た頭山や内田の民族主義は、他民族の民族主義をも認めるもので、排外主義ではなかったのである。

日本人を妻としたナイルは、戦後、レストラン経営のかたわら、印日関係の調整役として民間外交にもつくした。

▲戦後、「日印平和条約」実現に奔走。

風濤社提供

## 党官僚主導の「安定」が停滞と汚職の原因だった

一八年前の一九六四年一〇月一四日の中央委員会総会で共産党書記長に選出されたブレジネフが最初に着手した政策は、フルシチョフによって進められた党権力の分散、地方分権といった改革に対して、党官僚既得の権益を守ろうとするきわめて保守的なものであった。

「発達した社会主義」というスローガンのもと、コルホーズ(集団農場)の権限を拡大、経済の民主化をめざした地方国民経済会議は廃止されるなど、非フルシチョフ化が進められた。中でもブレジネフが重視したのは党幹部の座を長期的に保証し、安定した統治をめざした「ノーメンクラトゥーラ」の導入であった。

ソ連史上初めて消費財重視の姿勢が打ち出され、市民生活では週休二日制が導入され、テレビやラジオの普及も進んだが、政界の上層部では外交、軍事などの責任者が固定され、政治や経済の改革は進まなかった。

一方で、ブレジネフの健康は一九七〇年代のなかばから悪化し、重体説が流れるほどであったが、それ以上に長期政権の腐敗がブレジネフの凋落を早めていたのである。

ブレジネフ政権とは一体、何だったのか。

「ソ連の歴史の中では保守的ではあったが一番安定した政権でした。しかし、その安定は石油資源などのエネルギー輸出に胡座をかいたもので、汚職も構造化していました。そのため一九六〇年代に西欧諸国で進んだ経済の情報化や技術革新から、完全に取り残されたのです。そしてこうした停滞への危機感は、短命だったアンドロポフ、チェルネンコ時代を終え、一九八五年三月のミハイル・ゴルバチョフの登場によって一挙に噴出し、『ペレストロイカ(改革)』からソ連邦の崩壊へとつながっていったのです」

こう語るのは、青山学院大学教授の袴田茂樹氏である。

**レオニード・ブレジネフ**(1906〜1982)

一九三一年共産党入党。五二年党中央委員会書記となるが翌年解任。五六年返り咲く。その後書記長を経て、七七年最高会議幹部会議長となる。

**ユーリイ・アンドロポフ**(1914〜1984)

電信工として働き、一九三九年共産党入党。駐ハンガリー大使、党中央委員、国家保安委員会議長などを経て、八三年最高会議幹部会議長となる。

▶ブレジネフ亡き後、ソ連邦の中枢を握った左からロマノフ中央委員会書記、アンドロポフ書記長、ゴルバチョフ政治局員。

ノーボスチ通信社



# 往きて還らぬ

▲8月29日　I・バーグマン(67)
女優。映画「カサブランカ」で知られる。1944年「ガス燈」で、56年「追想」でアカデミー主演女優賞受賞。

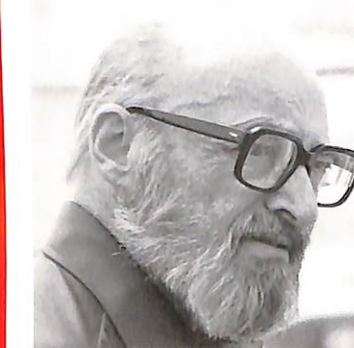
▲3月26日　水原茂(73)
プロ野球監督。巨人の名三塁手で、昭和17年最高殊勲選手。後に巨人、東映、中日の監督をつとめ、52年野球殿堂入り。

▲2月13日　江利チエミ(45)
歌手。昭和26年デビュー曲「テネシー・ワルツ」が大ヒット。後に美空ひばり、雪村いづみと〝三人娘〟で活躍。

◀5月29日　ロミー・シュナイダー(43)
オーストリアの個性派女優。一九五八年「恋ひとすじに」で共演のアラン・ドロン(写真左)と婚約、後に解消。

▲2月26日　衣笠貞之助(86)
映画監督。女形俳優から監督に。昭和元年「狂った一頁」発表、29年「地獄門」でカンヌ映画祭グランプリ受賞。

共同通信社

▲1月11日　堀越二郎(78)
航空機技術者。昭和2年三菱内燃機入社、零式艦上戦闘機(零戦)を設計、世界的に知られた。戦後、防衛大教授に。

▲9月3日　エラリー・クイーン(76)
本名はF・ダネー。いとこのM・リーとともに、エラリー・クイーンの名前で100冊におよぶ探偵小説を世に送った。

共同通信社

▲7月5日　池田弥三郎(67)
国文学者、元慶大教授。民俗学・芸能史研究にも優れ、著書に『文学と民俗学』など。NHK解説委員もつとめた。

共同通信社

▲3月31日　鹿島卯女(78)
実業家。昭和23年鹿島建設取締役、32年、夫の守之助の後を受け、鹿島建設初の女性社長となった。

▲1月18日　三益愛子(71)
女優。〝母もの映画〟の代表的スター。昭和34年には舞台「がめつい奴」も大当たり。作家・川口松太郎の夫人。

▲10月26日　灰田勝彦(71)
歌手。立教大在学中にハワイアン・バンドで活躍。戦前に「鈴懸の径」、戦後「野球小僧」などのヒットを飛ばした。

▲8月15日　鳩山薫(93)
教育者。元首相・鳩山一郎の妻。夫の亡き後、長男の威一郎、孫の由紀夫・邦夫を政界に送った。女子教育にも尽力。

◀2月11日　志村喬(76)
映画俳優。演技派で知られる。戦前は時代劇の脇役で活躍。戦後、黒澤明監督の「生きる」「七人の侍」などに出演。

# 週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

**第55号** 3月17日(火)発売 定価560円 毎週火曜日発売 講談社 本体533円

## 1983［昭和58年］

●**特集**
年間一〇〇〇万人以上が殺到 東京ディズニーランド誕生／乗員・乗客二六九人が犠牲に！ 大韓航空機007便撃墜事件／教師を殴る蹴る、放火……「荒れる教室」を招いたのは誰か／視聴率は最高時六二・九％ ドラマ「おしん」人気と小林綾子ちゃん

●**ニュース・ファイル**
フォト＋日録で再現する365日…中曽根首相、「日本列島を不沈空母に」と発言(1月19日)／戸塚ヨットスクールの戸塚宏、逮捕(6月13日)／厚生省の脳死に関する研究班、初会合(9月10日)／田中角栄元首相に懲役四年の実刑判決(10月12日)／サラ金規制二法施行(11月1日)

●**人物クローズアップ**
安藤忠雄と「六甲の集合住宅」

●**決定的瞬間**
アキノ暗殺、たった一枚の「カラー写真」

●**美の出会い**
野町和嘉写真集『バハル』の衝撃！

●**女たちの肖像**…杉村春子「女の一生」の名演／**勝者・敗者**…黒岩彰、世界選手権総合優勝！／**証言・あの日この日**…永山則夫、三田誠広／**20世紀博物館**…パチンコミュージアム(愛知)／**「現場」を歩く**…愛人バンク商法「夕ぐれ族」の危険な部分／**外から見たNIPPON**…詩人ブローティガンと寺山修司の葬儀

●**ベストセラー**…赤川次郎『探偵物語』／**スターと名場面**…大島渚「戦場のメリークリスマス」／**モノ語り'83**…「カロリーメイト」「日本名湯めぐり」「ファミコン」

# ミニ事典

## 1982年のキーワード

**三極通商会議**
米・カナダ、日本、ECの三つの経済パワー（三極）が世界の通商問題で、国際協調路線の実現をめざして設立した会議。米国の提案で発足。第一回会議は一月一五日・一六日にフロリダ州で開かれ、安倍晋太郎通産大臣が出席。日本は前年、対米約一三四億ドル、対EC約一〇三億ドルという過去最高の貿易黒字を記録していたため、貿易不均衡是正を厳しく迫られた。

AP／WWP

▲閉会会見。左から安倍通産相、ブロック米通商代表、ハフェルカンプEC副委員長、ラムリー・カナダ貿易相。

**一〇フィート運動**
米国内に保存されていた未公開の広島・長崎の原爆記録フィルムを日本に買い戻して上映しようという運動。市民グループが一口一〇フィート分三〇〇〇円のカンパを募って実現をめざした。その第一作「にんげんをかえせ」は一月二一日、東京・広島・長崎で公開された。

**心身症**
ストレスなどの心理的要因から身体に変調をきたす病気。神経性の胃潰瘍、過敏性大腸症候群など症状はさまざま。不定愁訴症候群、自律神経失調症などとも言う。二月九日、羽田沖で墜落事故を起こした機長が「心身症」と報道されたが、後の診断で精神分裂病と判定された。

**惑星直列**
太陽から見て全九惑星が九五度の角度内に集まる現象。三月一〇日に起き、一〇〇〇年ぶりという珍しい現象だったため、大地震の前ぶれだなどの憶測を呼んだ。木星を中心に全惑星が太陽の片側に並ぶと、その方向の引力が異常にふえ、地球に大地震を引き起こすなどと記した米航空宇宙局（NASA）局員の著作『木星効果』（一九七四年）などが、その引き金となった。

**ナショナル・トラスト運動**
国民から寄せられた基金で自然や歴史的環境を取得・管理し保存していこうという運動。和歌山県田辺市の天神崎、北海道斜里町の「知床一〇〇平方メートル運動」などが著名。環境庁は五月三日、研究懇談会発足を決め、翌年、基金の名称を国民環境基金とし、昭和六〇年から税制上の優遇措置を認めた。平成四年には社団法人日本ナショナル・トラスト協会が誕生した。

田辺市提供

▲和歌山県田辺市の天神崎。これまでに目標の3分の1、約6ヘクタールが買収された。

**ナイロビ宣言**
ケニアの首都ナイロビで開催された国連環境計画（UNEP）特別会議が五月一八日に採択した宣言。環境破壊の主因を、発展途上国の性急な開発と先進国の浪費によってもたらされる森林の乱伐にあるとし、軍備のための資源浪費にも注意をうながした。しかし、米ソの思惑から「軍縮」については明文化されなかった。

**医療ミス**
医師による治療時の誤認、不注意。しばしば重大な医療事故を引き起こす。五月二三日付「朝日新聞」によると、紛争になって賠償金を支払ったものだけで年間一五〇〇件にのぼる。この年四月にも、東京の歯科医が三歳の幼児の虫歯予防に、誤って猛毒のフッ化水素酸を使用して死亡させた事故があった。平成二年には、医事紛争を扱う弁護士らが医療事故情報センターを開設した。

**第二回国連軍縮特別総会**
軍縮、核実験の全面禁止をめざして一五七ヵ国の代表が参加、六月七日から七月一〇日まで開催された国連総会。これに合わせてNGO（非政府組織）による反核運動が行われ、ニューヨークでは一〇〇万人デモが実現するなど、空前の盛り上がりを見せた。しかし、総会は、米ソの激しい対立により成果をあげることができなかった。

ロイター／サンテレフォト

▶軍縮総会に合わせてニューヨークで行われた一〇〇万人の反核デモ。

**マイナス・シーリング**
各省庁が大蔵省に提出する次年度予算の概算要求（シーリング）を、前年度予算額より低い価額でしか認めないこと。七月九日、閣議は増税なき財政再建をめざすため、初めて概算要求額を五パーセント削減するとの大蔵省の方針を了承した。

**歴史教科書問題**
文部省が教科書検定で高校社会科の「侵略」の表現を「進攻」と書き換えさせたことなどについて、七月二六日に中国から、八月三日には韓国から「日本が中国や韓国を侵略した事実を隠蔽するもの」と記述是正の要望がなされ、外交問題に発展した事件。八月二六日、政府は責任を持って是正すると発表、九月九日、両国が了承し決着した。

**遺伝子組み換え**
異種の生物のDNAを切断・連結し新たに組み換えること。人間の生命操作への危惧があるため各国が強く規制したが、次第に緩和された。日本では昭和五七年八月に、大腸菌などの微生物しか宿主として認めていなかったものを動植物の培養細胞や受精卵にまで拡大。一一月二二日、文部省は人間のホルモンなどの遺伝子をマウスの受精卵に組みこむ実験を許可した。

**ゲーム・プログラム**
テレビゲームの内容・手順・方式。一二月六日、無断で複製・販売した業者に対し、ゲーム機製造会社が損害賠償を求め、東京地裁は「プログラムは作成者の独自の創作表現で、著作権法上保護される著作物にあたる」として原告の訴えを認めた。この判決は、当時安易に考えられていたコンピュータ・ソフトウェアの複製に一石を投じた。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1982

CONTENTS




●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター 山口至剛
表紙デザイン 山口至剛デザイン室（茂村巨利）＋渡邉裕
本文レイアウト デザインオフィス八起き
編集協力 有エービーシープレス 株カマル社 株コミュニケーションハウス・ケースリー シト・プロ 有マックス 有マライカ
飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦宏 張替政展 藤森雅弘 結城順・吉田忠正
●写真協力
石川文洋 マーティン・クリーヴァー 但馬一憲 兎沢三果 林明孝 増淵良雄
朝日新聞社 AP 沖縄タイムス 共同通信社 京都新聞社 サン・テレフォト 時事通信社 中日新聞社 集英社 日刊スポーツ ノーボスチ通信社 PANA通信社 風濤社 毎日新聞社 MASH ★ROOM ユニフォト・プレス UPI・サン 読売新聞社 ロイター WWP
キングレコード 松竹 西武百貨店 東芝 東宝
上野動物園 えとせとらレコード博物館 国立天文台野辺山観測所
田辺市 東京動物園協会 NASA 奈良国立文化財研究所

定価560円

雑誌 23714-3/24 T1123714030565
Ⓛ-2001/1/1



印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社